

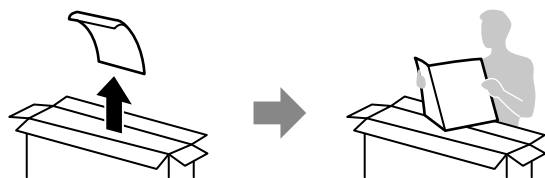


4K液晶テレビ

取扱説明書

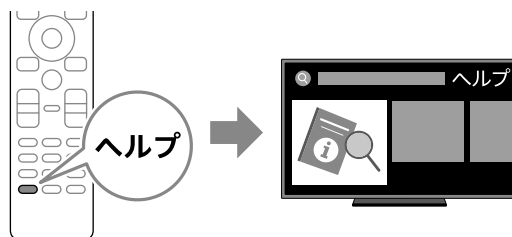
「組み立て／設置ガイド」

テレビのカートン(箱)上部にあります。



「ヘルプガイド(電子取説)」

リモコンのヘルプボタンから、より詳しい本機の使いかた／困ったときの対処方法を表示できます。(5 ページ)



BRAVIA

警告 安全のために

電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

→ 46～51ページもあわせてお読みください。

テレビは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

「安全のために」(46～51ページ)のご注意をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

定期的に点検する

お買い上げ時とそのあと1年に1度は「長年ご使用のテレビの点検を！」(裏表紙)の症状がないかを点検してください。

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。

また、本機の通風孔付近にほこりが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーご相談窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- テレビ内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは



- ❶ 電源を切る
- ❷ 電源プラグをコンセントから抜く
- ❸ お買い上げ店またはソニーご相談窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



風呂・シャワー室での使用禁止



接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

目次

テレビを見るための準備 組み立て／設置ガイド	(別紙)
マニュアルについて	4
各部のなまえ／ホームメニュー	
各部のなまえ(本体ボタン／接続端子／リモコン)	6
ホームメニューを使う	12
テレビを見る	
テレビメニューバーから番組を選ぶ	13
画質／音質を好みに設定する	15
録画する	
録画用USBハードディスク機器をつなぐ	16
録画する／見る／削除する	18
他機器をつなぐ	
ホームシアターシステムなどをつなぐ	21
BDレコーダーやゲーム機をHDMIケーブルなどでつなぐ	25
ブラビアリンク機能を使う	27
ネットワークにつなぐ	
ネットワークにつなぐ(インターネット／ソニールームリンク)	31
ネット動画を楽しむ	35
音声でコンテンツを検索する	36
困ったときは	
故障かな?と思ったら	37
サポートページで最新の情報を調べる	44
保証書とアフターサービス	45
安全のために／その他	
安全のために	46
使用上のご注意／お手入れ	52
再設置／チャンネル設定をやり直す	54
テレビを壁に取り付けて使う	54
転倒防止用ベルトを取り付ける	55
主な仕様	56
ソフトウェアに関する重要なお知らせ	58
索引	61

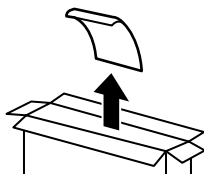


ヘルプガイド(電子取説)では、この取扱説明書より詳しく、使いかたを説明しています(5 ページ)。

マニュアルについて

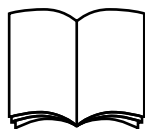
本機のマニュアルを紹介します。

組み立て／設置ガイド



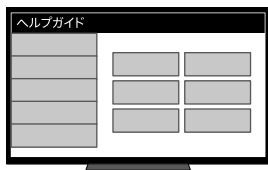
テレビのカートン(箱)の上部にあります。
テレビの組み立てから、設置・接続して、電源を入れるまでを説明しています。

取扱説明書(本書)



テレビの基本的な使いかたを説明しています。
記載内容については、本書の目次をご覧ください。

ヘルプガイド(電子取説)



本機の使いかたを、より詳しく説明している、
画面で見るマニュアルです。
使いかたは、次のページをご覧ください。



パソコンやスマートフォン、タブレットで見るとは

ヘルプガイドを見ながら、テレビを操作できます。
ブラウザのアドレス欄にURLを入力するか、二次元コードを読み込んでください。

<http://rd1.sony.net/help/tv/gjp1/ja/>

(ヒント)

- スマートフォンやタブレットでは、Video & TV SideViewアプリを使ってヘルプガイドを見することもできます。Video & TV SideViewアプリは Google Play または App Store でダウンロードできます。

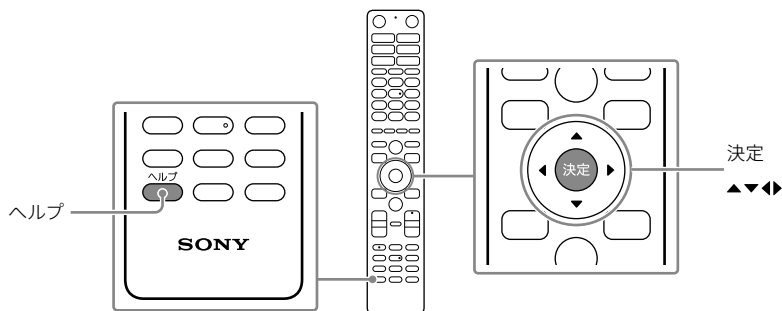
(ヒント)

- マニュアル類は、下記のサポートサイトからもご覧いただけます。
<https://www.sony.jp/support/tv/>



ヘルプガイド(電子取説)で、テレビの使いかたを調べる

本機は、テレビ画面で見るヘルプガイドをテレビ本体に内蔵しています。
ヘルプガイドはテレビ機能の操作方法、困ったときの対処方法などを本書よりも詳しく説明しています。ヘルプガイドの起動方法は以下です。

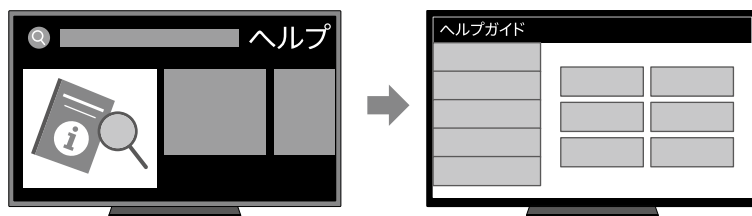


1 リモコンのヘルプボタンを押す。

ヘルプ画面が表示されます。

2 ▲▼◀▶ ボタンで、[ヘルプガイド(電子取説)]を選び、決定ボタンを押す。

ヘルプガイドが表示されます。



見たい項目を選び、決定ボタンを押します。

ヘルプガイドを閉じるには、リモコンのヘルプボタンを押します。

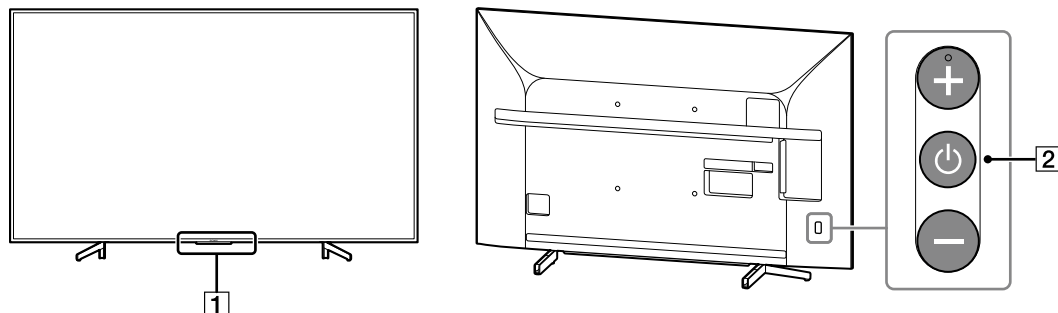
(ヒント)

- 本機をインターネットにつないで(31 ページ)、画面右上の[オンライン版に切り換える]を選び決定ボタンを押すと、最新のヘルプガイドをご覧ください。

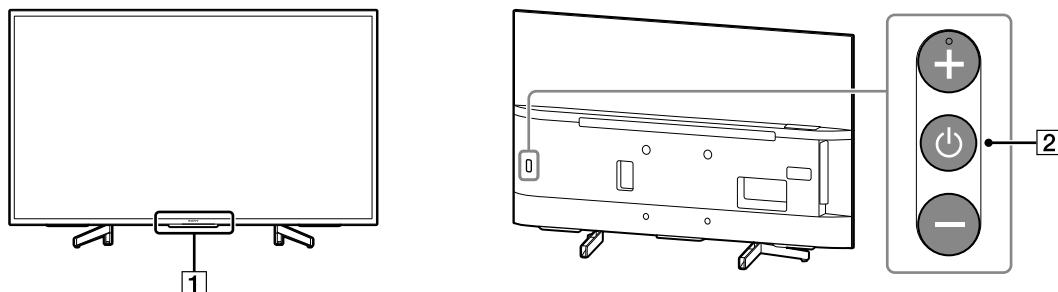
各部のなまえ (本体ボタン／接続端子／リモコン)

本体ボタン

■ KJ-65X8000G



■ KJ-55/49/43X8000G



① イルミネーションLED／リモコン受光部／明るさセンサー

イルミネーションLEDは、リモコンの操作に応じて点滅し、テレビの状態によって、以下のような色に点灯します。

- 白色
テレビの電源を入れたとき、ソフトウェアアップデート中、消画中
- 青色
テレビとモバイル機器(スマートフォンなど)がワイヤレスで接続されているとき
- 赤色
USB録画 録画中
- オレンジ色
以下が動作中：
オンタイマー、スリープタイマー、USB録画予約待機中

ご注意

- イルミネーションLEDの付近にリモコン受光部や明るさセンサーがあるため、前に物を置かないでください。
- タイマーが設定されている状態、またはUSB録画中の状態を除き、テレビが電源スタンバイ時にはイルミネーションLEDは点灯しません。
- [イルミネーションLED]が[操作応答時のみ点灯]に設定されている場合、イルミネーションLEDは常時点灯せず、何か操作をしたときに点滅します。

② ⏻ (電源)、+／- ボタン

電源を入れるときは⏻ボタンを押し、電源を切るときは⏻ボタンを長押しします。

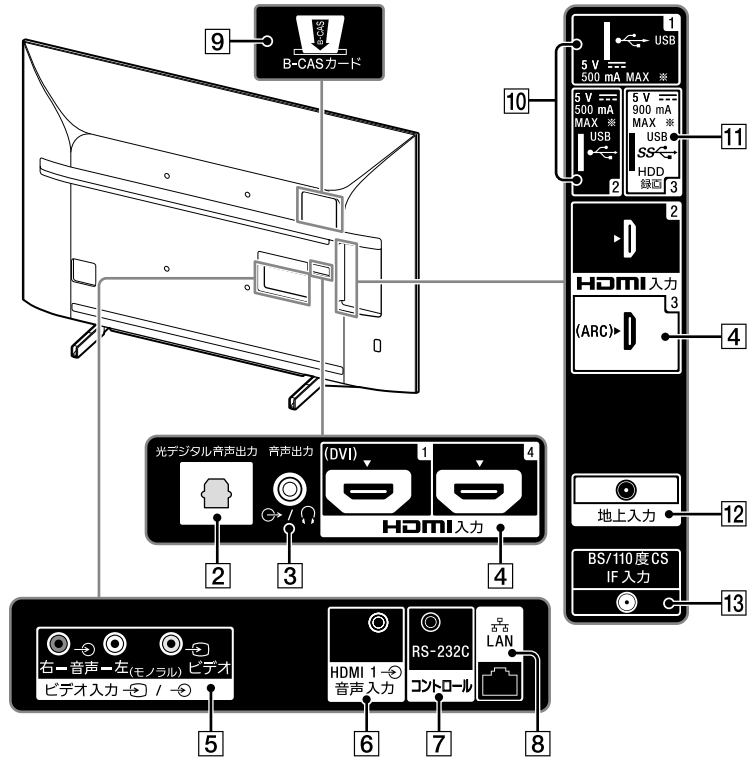
電源が入っているときは⏻ボタンを押すたびに音量調節モード、チャンネル切換モード、入力切換モードの順に変わります。各モードは+／-ボタンで操作できます。

ご注意

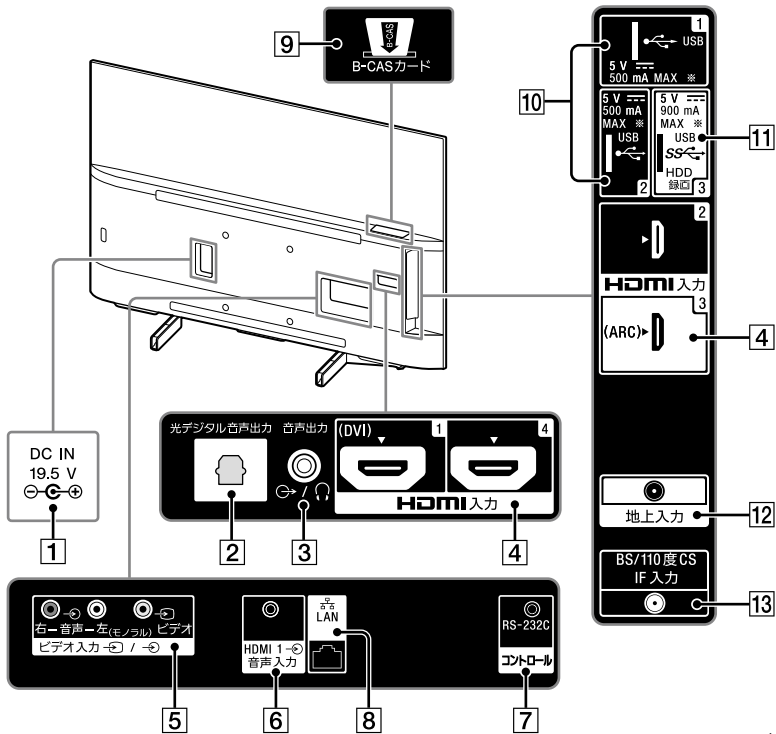
- 電源ボタンでは電源を完全に切ることはできません。電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続端子

■ KJ-65/55X8000G



■ KJ-49/43X8000G



次ページへつづく

各部のなまえ／ホームメニュー

1 DC IN 19.5 V (KJ-49/43X8000Gのみ)


付属のACパワーアダプターをつなぎます。


2 光デジタル音声出力端子

別売の光デジタルケーブルでオーディオシステムやホームシアター機器などの光デジタル音声入力端子につなぎます。


3 音声出力／端子

ヘッドホンをつなぎます。あるいは別売の音声ケーブルでオーディオ機器のアナログ音声入力端子につなぎます。

接続した機器にあわせて  (設定) - [音質・音声設定] - [ヘッドホン・音声外部出力設定] を変更してください。

ヘッドホンの音とスピーカーの音を同時に聞きたい場合は、 (設定) - [音質・音声設定] - [ヘッドホン使用時設定] を変更してください。

ご注意

- 音声出力／端子には3極のステレオミニプラグをつないでください。

4 HDMI 1、2、3、4入力端子

BDレコーダー／プレーヤーなどのHDMI端子につなぎます。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は、デジタル映像／音声入出力インターフェース規格です。HDMI端子のあるAV機器と接続できます。

HDMI 2、3入力端子

より高精彩なHDMIフォーマット(4K 60p 4:4:4、4:2:2、または4K 60p 4:2:0 10ビットなど)で映像を表示する場合は、18 Gbpsに対応したプレミアムハイスピードHDMIケーブルをHDMI 2/3入力端子につなぎ、そのHDMI入力端子の[HDMI信号フォーマット]を[拡張フォーマット]に設定してください(25 ページ)。

設定について詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

HDMI 3 ARC (Audio Return Channel)

ARCに対応したオーディオシステムと接続する場合は、HDMI 3入力端子をお使いください。

ARCとは、HDMIケーブルを通して、テレビの音声をテレビのHDMI入力端子からオーディオシステムに送る機能です。オーディオシステムがARCに対応していない場合は、光デジタル音声出力との接続も必要です。

5 ビデオ入力端子(映像／音声)

録画機器やDVDプレーヤーなどの再生機器、およびケーブルテレビチューナー(セットトップボックス)などのビデオ出力端子につなぎます。モノラル音声出力につなぐときは、音声左(白色)端子につないでください。

6 HDMI 1音声入力端子

HDMI 1入力端子にDVI端子搭載機器をつなぐときは、音声ケーブル(別売)を使って本端子とDVI端子搭載機器のアナログ音声出力端子をつなぎます。

7 コントロール端子

サービス用の端子です。通常は使用しません。

8 LAN端子

別売のLANケーブルでモデムやルーターにつないで、テレビをネットワークに接続します。

9 B-CASカード挿入口

付属のB-CASカードを挿入します。

10 USB 1、2端子

デジタルカメラなどのUSB機器をつないで、写真／音楽／ビデオなどを楽しめます。

USBハードディスク機器をつないでも録画はできません。

ご注意

- 大きなUSB機器を接続すると、他の接続した機器とぶつかることがあります。大きなUSB機器を接続する場合はUSB 1端子をお使いください。

11 USB 3 HDD録画端子(青)

デジタルカメラなどのUSB機器をつないで、写真／音楽／ビデオなどを楽しめます。

USBハードディスク機器をつなぐと、デジタル放送の録画もできます。

ご注意

- 大きなUSB機器を接続すると、他の接続した機器とぶつかることがあります。大きなUSB機器を接続する場合はUSB 1端子をお使いください。

12 地上入力端子

UHF用同軸アンテナ接続ケーブルや、ケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

13 BS/110度CS IF入力端子

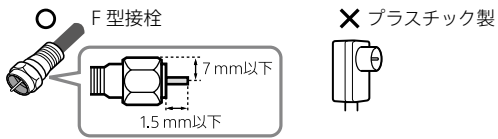
衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。

衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15 Vの直流電圧が出ています。

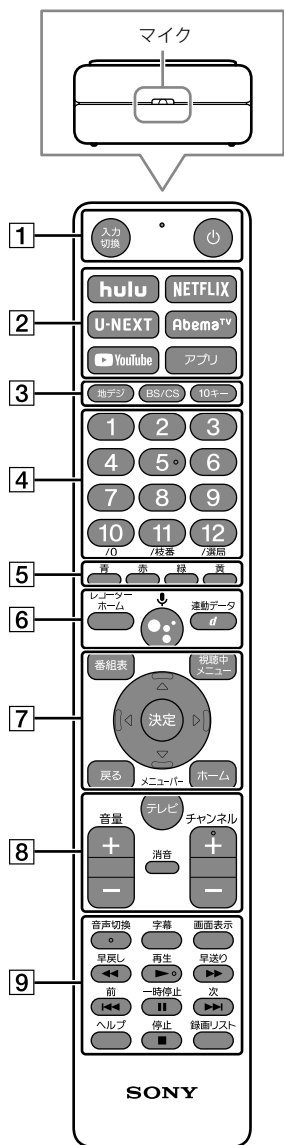
VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

アンテナ接続について

- プラスチック製アダプターは、ノイズが入る可能性があるため、F型接栓を推奨いたします。



- アンテナや分配器、分波器、ブースターなどがBSデジタル／110度CSデジタルに対応していないと、BSデジタル／110度CSデジタルは受信できません。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。



1 入力切換

テレビの入力一覧を表示します。繰り返し押して入力を切り換えます。

LED

● (Google アシスタント) / ● (マイク) ボタンを押し、マイクが有効になると点灯します。

⏻ (電源)

2 Hulu

Huluサービスに切り換えるときに押します。

U-NEXT

U-NEXTサービスに切り換えるときに押します。

YouTube

YouTube サービスに切り換えるときに押します。

NETFLIX

NETFLIXサービスに切り換えるときに押します。

AbemaTV

AbemaTVサービスに切り換えるときに押します。

アプリ

さまざまなサービスやアプリの一覧を表示するときに押します。

3 放送切換ボタン(地デジ、BS/CS)

放送波を切り換えるときに押します。

10キー

数字ボタンでチャンネルを選ぶときに、先に10キーボタンを押すと、チャンネル番号を10キー入力できます。

4 数字ボタン

チャンネルを切り換えたり、数字を入力するときに押します。

電源スタンバイ時に数字ボタンを押すと、電源が入ると同時に選んだチャンネルを表示できます(チャンネルポン)。

5 カラーボタン(青、赤、緑、黄)

各色のボタンに対応する機能を選ぶときに押します。

6 レコーダーホーム

HDMIで接続しているBDレコーダーのホームメニューを表示するときに押します。

● (Google アシスタント) / ● (マイク)

Google アシスタントを使ってやりたいことを話しかけたり、見たいコンテンツを声で検索するときに押します。

d (連動データ)

番組と連動しているデータ放送を表示するときに押します。

7 番組表

放送局が送信する番組情報を表示するときに押します。

視聴中メニュー

そのときに利用できる機能の一覧を表示するときに押します。

▲▼◀▶、決定

▲▼◀▶ ボタンで画面上の項目を選び、決定ボタンで選んだ項目を決定します。

戻る

前の画面に戻ります。

ホーム

ホームメニューを表示するときに押します。

8 テレビ

テレビ放送に切り換えるときに押します。電源スタンバイ時にテレビボタンを押すと、電源が入ると同時にテレビ放送を表示できます。テレビ放送を視聴中に押すと、テレビメニューバー(13 ページ)を表示します。

音量+/-

音量を調節するときに押します。

チャンネル+/-

チャンネルを切り換えるときに押します。

消音

音を消したいときに押します。もう一度押すと、音声が出ます。

9 音声切換

副音声や第2音声(デジタル放送のみ)に切り換えるときに押します。

字幕

字幕を第一言語→第二言語→切の順に切り換えるときに押します。

ご注意

- 第二言語が運用されていない番組は第一言語と同じ字幕が表示されます。

画面表示

チャンネルや番組情報、時計などの表示／非表示を切り換えるときに押します。

チャンネルや番組情報は画面の上部、時計は画面の右下に表示されます。

ご注意

- [時計表示]を有効に設定すると、テレビ放送や外部入力で常に時計が表示されます。時計表示の設定方法については、以下のヒント「時計表示について」をご覧ください。

早戻し／再生／早送り／前／一時停止／次／停止

ブラビアリンク対応の録画機器やUSBハードディスク機器を操作するときに押します。

ご注意

- USBハードディスク機器に録画した番組を再生するときは、チャプターがないため前／次ボタンは使えません。早戻し／早送りボタンを使ってください。

ヘルプ

本機の情報や困ったときの対応方法を確認するとき、ヘルプガイド(電子取説)を表示するときに押します。

録画リスト

録画した番組の一覧を表示するときに押します。

ご注意

- 状況に応じて使えるボタンは変わります。

ヒント

- ▶ (再生) ボタン、音声切換ボタン、数字ボタンの[5]、チャンネル+ボタンには凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。
- 時計表示について
ホームボタンを押して、**設定** - [日付と時刻] - [時計表示] を有効に設定すると、テレビ放送や外部入力で常に時計を表示できます。

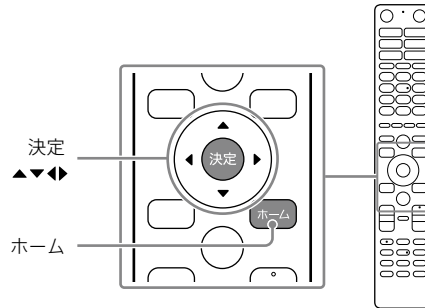
視聴中メニューについて

視聴中メニューボタン[7]を押すと、表示中の画面で使うことができる機能(画質／音質調整、録画済み番組の削除など)を表示します。



ホームメニューを使う

ホームボタンを押すと、ホームメニューが表示されます。
ホームメニューからコンテンツを検索したり、おすすめコンテンツやアプリ、設定項目を選ぶことができます。






1 ホームボタンを押す。

2 ▲▼◀▶ ボタンでアプリなどお好みの項目を選び、決定ボタンを押す。



メニュー項目の一例

メニュー項目	できること
入力切換/  (入力)	テレビ放送(地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル)やテレビにつないだ機器を選択できます。
 (設定)	テレビのいろいろな設定(画質や音質、チャンネル設定など)を変更できます。
 (タイマー)	オンタイマーとスリープタイマーを設定できます。

ご注意

- お使いの状況により表示される項目は異なります。

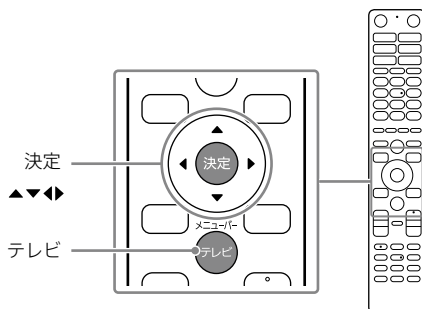
ヒント

- 音声検索については36ページをご覧ください。

テレビメニューバーから番組を選ぶ

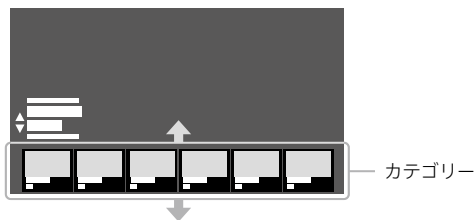
テレビを見るには、テレビボタンを押します。

テレビ放送を視聴中にテレビボタンを押すと、テレビメニューバーを表示します。テレビメニューバーから番組表や録画リスト、予約リストにアクセスできるかんたんメニューを表示したり、お気に入りチャンネルにアクセスできます。



1 テレビ放送を視聴中に、テレビボタンを押す。

2 ▲▼◀▶ ボタンで好みのカテゴリーを選ぶ。



3 見たい番組を選び、決定ボタンを押す。

テレビメニューバーのカテゴリー一覧

カテゴリー	できること
かんたんメニュー	テレビの基本的な機能を切り換えることができます。
地上D	地上デジタル放送を見ることができます。
BS	BS放送を見ることができます。
CS	CS放送を見ることができます。
録画番組	録画した番組を見たり、録画リストを表示したりすることができます。
マイアプリ	よく見るアプリを登録できます。

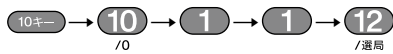
お気に入りのチャンネルを登録するには

テレビメニューバーを表示中、▼ ボタンを何度か押して、「お気に入りのチャンネル登録」を選んでください。登録後は、「お気に入り 1」～「お気に入り 4」からチャンネルを選べます。

数字ボタンで番組を選ぶには

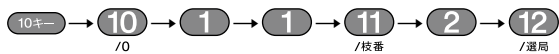
地デジ、BS/CSボタンを押して放送波を選び、数字ボタンを押してチャンネルを選びます。3桁のチャンネル番号を入力するには、10キーボタンを押したあと、数字ボタンでチャンネル番号を入力して、最後に12（/選局）ボタンを押します。

例) 011チャンネルを選ぶ場合



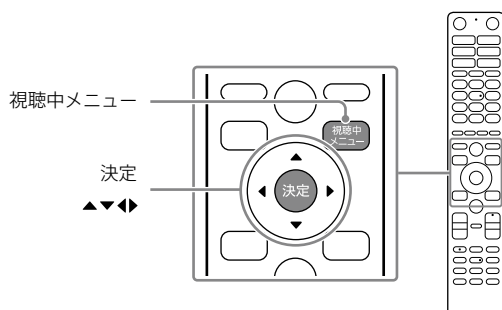
1つのチャンネル番号に複数の放送があるときは枝番号を入力する必要があります。最初に10キーボタンを押したあと、3桁のチャンネル番号を数字ボタンで入力します。次に、11（/枝番）ボタンを押して枝番号を数字ボタンで入力し、最後に12（/選局）ボタンを押してください。

例) 011-2チャンネルを選ぶ場合



画質／音質を好みに設定する

画面が暗いと感じたり、色がおかしいと感じたら、画質を調整してください。



1 視聴中メニューボタンを押す。

画面上部に、視聴中メニューが表示されます。

2 ▲▼◀▶ ボタンで[画質]または[音質]を選び、決定ボタンを押す。



3 調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

例) 全体に画質を変更する場合
[画質モード]を選び、決定ボタンを押します。

4 好みの値を選び、決定ボタンを押す。

ヒント

- 画質は、テレビ放送(地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル)、HDMI入力、ビデオ入力などのそれぞれの入力で設定できます。

録画用USBハードディスク機器をつなぐ

テレビにUSBハードディスク機器をつなぐと、デジタル放送を録画できます。

テレビに対応しているUSBハードディスク機器について詳しくは、ブラビア サポートページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/tv/>

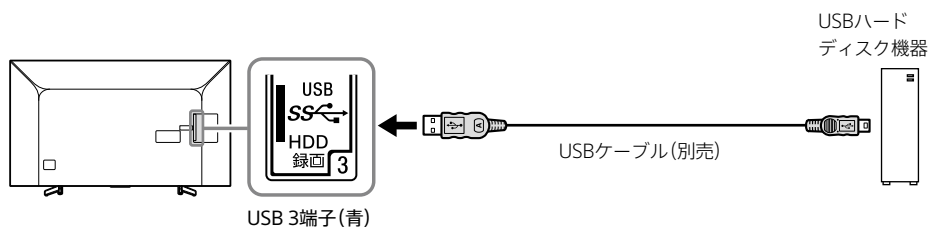
他機器で使用していたUSBハードディスク機器を録画用に使うには、ハードディスクのフォーマットが必要です。詳しくはヘルプガイドをご覧ください。

ネットワークでつないだ機器に録画するには、「ネットワークにつないだ機器に録画する、見る」(34 ページ)をご覧ください。

1 必要なもの(別売)を準備する。

- 32 GB以上のUSBハードディスク機器(1台)
- USBケーブル(1本)

2 USBケーブル(別売)を、テレビの **SS⇄** USB 3 HDD録画端子(青)とUSBハードディスク機器(別売)のUSB端子につなぐ。



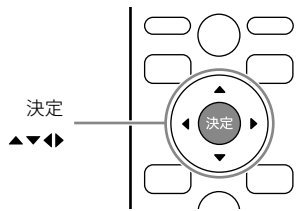
ご注意

- USBハブを使ってつなぐと、録画できません。

3 USBハードディスク機器の電源を入れる。

4 [USBドライブが接続されました]という画面に切り換わるまで待つ。

5 ▲▼◀▶ ボタンで[録画用機器として登録]を選び、決定ボタンを押す。



ご注意

- エラーメッセージが表示されたときは、場合によって対処方法が異なります。
 - USBハードディスク機器が正しい端子に接続されていない場合
「HDD録画」と書かれたUSB 3端子(青)に接続し直してください。
 - USBハードディスク機器がすでに録画用以外の機器として登録されている場合
USBハードディスク機器が[端末のストレージ]として登録されていますので、録画用機器として登録し直してください。詳しくは、「[端末のストレージ]として登録されたUSBハードディスク機器を録画用として登録するには」(17ページ)をご覧ください。

6 画面の指示に従って、USBハードディスク機器をテレビに登録する。

ご注意

- テレビ録画用に初期化したUSBハードディスク機器をパソコンでお使いになるには、パソコンで初期化してください。ただし、USBハードディスク機器に録画した番組は消去されます。

ヒント

- ⚙️(設定)－[録画機器設定]－[録画用に登録]を選んで、USBハードディスク機器をテレビに登録することもできます。
- USBハードディスク機器は最大8台まで登録できます。

[端末のストレージ]として登録されたUSBハードディスク機器を録画用として登録するには

ご注意

- この操作を行う前に、USBハードディスク機器がUSB 3端子(青)に接続されていることを確認してください。またUSB 1端子とUSB 2端子に接続された機器がある場合は、いったん取り外してください。

- リモコンのホームボタンを押し、⚙️(設定)－[ストレージとリセット]を選ぶ。
- [端末のストレージ]に表示されたUSBハードディスク機器を選ぶ。
- [録画用機器として登録]を選ぶ。
- 画面の指示に従って、USBハードディスク機器をテレビに登録する。

USBハードディスク機器が認識されないときは、問題と対処の「録画」(42ページ)をご覧ください。

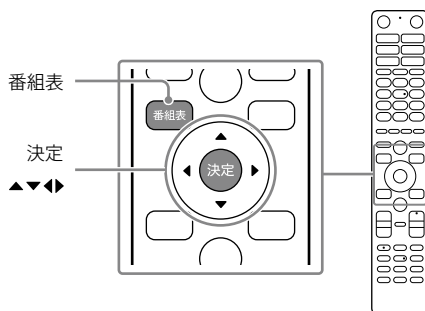
録画する／見る／削除する

録画予約する

番組表から録画予約したい番組を選んで、テレビにつないだ機器に録画できます。
あらかじめ、録画用USBハードディスクを接続してください。(16 ページ)

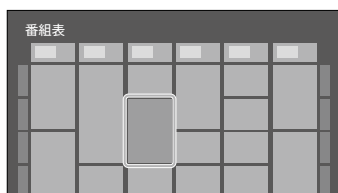
ご注意

- データ放送は録画できません。
- テレビの不具合や受信障害など、何らかの原因で正しく録画できなかったなど、いかなる場合においても記録内容の保障および、それに付随するあらゆる損害において当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。



1 番組表ボタンを押す。

2 ▲▼◀▶ ボタンで録画したい番組を選び、決定ボタンを押す。



3 [録画予約]を選び、決定ボタンを押す。

4 [録画機器]から録画用HDDを選び、決定ボタンを押す。

ブラビアリンク対応のBDレコーダーに録画予約する場合は、ブラビアリンクを設定(27 ページ)して、[録画機器]でBDレコーダーを選んでください。

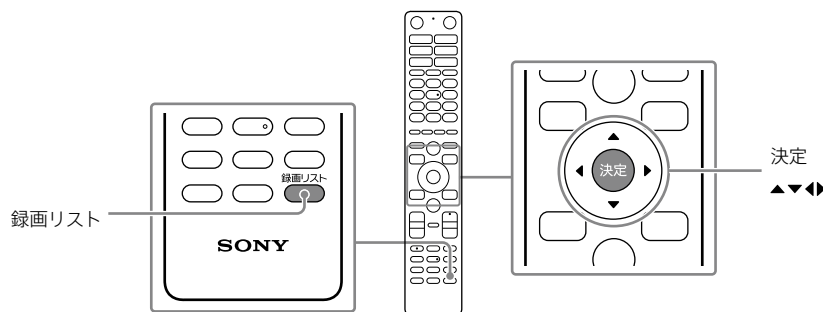
5 [予約確定]を選び、決定ボタンを押す。

録画予約を確認するには、番組表ボタンを押して番組表を表示し、フォーカスを左に動かしてメニューを開き、[予約リスト]を選びます。

ヒント

- 録画中でも、録画済みの番組を見ることができます。
- USBハードディスク機器に録画できる番組の数は3,000件までです。
- 録画できなかった録画予約は[録画リスト]の[録画エラーリスト]に表示されます。録画エラーリストは20件以上になると古い履歴から順番に自動的に消去されます。

録画した番組を見る



録画する

1 録画リストボタンを押す。

2 見たい番組を選び、決定ボタンを押す。

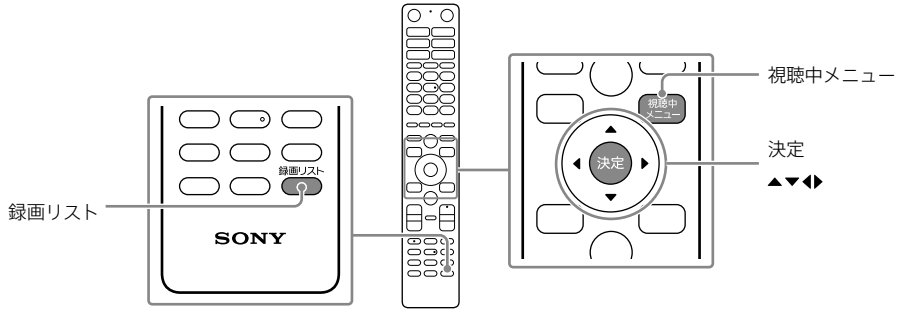


選んだ番組が再生されます。

ご注意

- 本機を使ってUSBハードディスク機器に録画した番組は、本機以外のテレビでは再生できません。

録画した番組を削除する



- 1 録画リストボタンを押す。
- 2 削除したい番組を選び、視聴中メニューボタンを押す。
- 3 [削除]を選び、決定ボタンを押す。
- 4 削除する番組にチェック(✓)を付けて[削除]を選び、決定ボタンを押す。
選んだ番組が削除されます。

ヒント

- 番組が保護されていて削除できない場合は、保護を解除します。
視聴中メニューボタンを押して[保護]を選び、決定ボタンを押したら、削除したい番組のチェックを外して[確定]を選び、決定ボタンを押してください。



Bluetooth機器のつなぎかたや、スマートフォンの画面をテレビに映す方法については、ヘルプガイド(電子取説)をご覧ください(5ページ)。

ホームシアターシステムなどをつなぐ

つなぐ機器の機能や音声入力端子の種類に応じて、つなぐ方法を選んでください。

1 必要なケーブル(別売)を準備する。

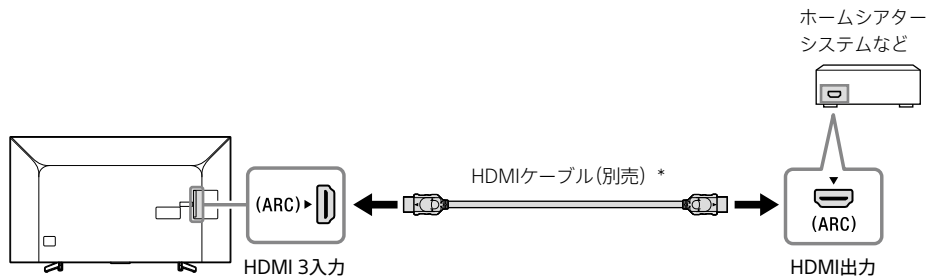
- HDMI出力(ARC)端子がある機器につなぐ場合
 - ソニー製のHigh Speed HDMIケーブル(1本)
- 光デジタル音声入力端子がある機器につなぐ場合
 - 光デジタル接続ケーブル(1本)
- アナログ音声入力端子がある機器につなぐ場合
 - 音声ケーブル(片方が3極のステレオミニプラグのもの)(1本)

ヒント

- HDMIケーブルでつなぐと、ブラビアリンク機能が使えます。ARC (Audio Return Channel)に対応していないホームシアターシステムにつなぐ場合は、HDMIケーブルと光デジタル接続ケーブルの両方をつないでください。

2 準備したケーブルをテレビとつなぐ機器の端子につなぐ。

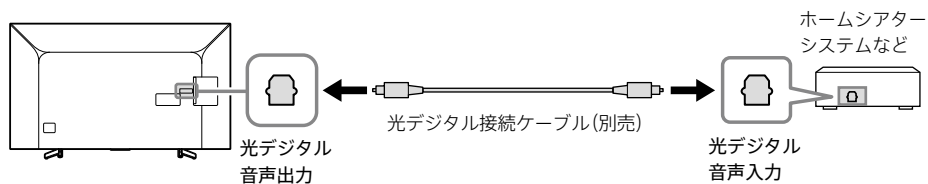
- HDMI出力(ARC)端子がある機器につなぐ場合
ソニー製のHigh Speed HDMIケーブル(別売) *を、テレビのHDMI 3入力端子とつなぐ機器のHDMI出力端子につなぐ。



* ホームシアターシステムなどの先にBDレコーダーやゲーム機を接続し、より高精細なHDMIフォーマットで映像を見る場合は、ソニー製のプレミアムハイスピードHDMIケーブル(別売)を使用してください。また、[HDMI信号フォーマット]を[拡張フォーマット]に設定してください(25ページ)。

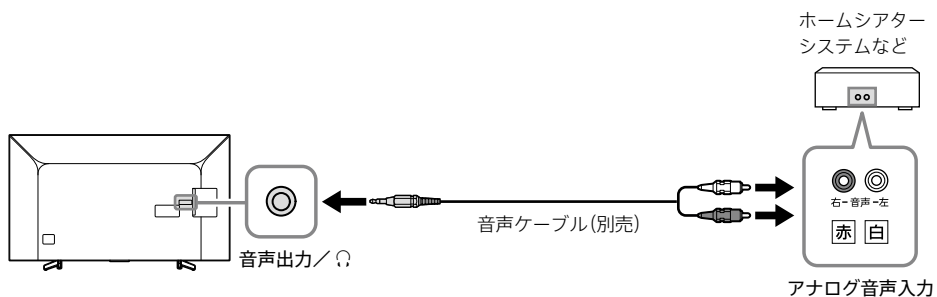
■ 光デジタル音声入力端子がある機器につなぐ場合

光デジタル接続ケーブル(別売)を、テレビの光デジタル音声出力端子とつなぐ機器の光デジタル音声入力端子につなぐ。



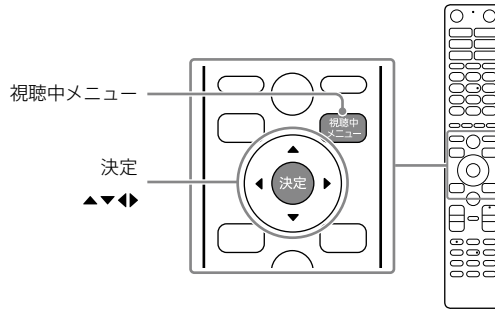
■ アナログ音声入力端子がある機器につなぐ場合

音声ケーブル(別売)を、テレビの音声出力/Ω端子とつなぐ機器の音声入力端子につなぐ。



音声出力の設定をする

HDMI出力端子／光デジタル音声入力端子がある機器につないだ場合




1 視聴中メニューボタンを押す。

2 ▲▼◀▶ ボタンで[スピーカー出力]を選び、決定ボタンを押す。

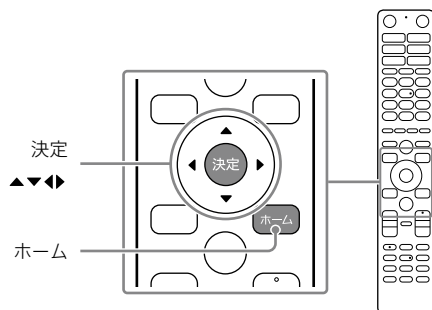


3 [オーディオシステム]を選び、決定ボタンを押す。

ヒント

- つないだ機器の電源を入れても音声が出力されない場合は、ホームボタンを押して、 (設定) - [音質・音声設定] - [デジタル音声出力] を順に選んでください。

アナログ音声入力端子がある機器につないだ場合



- 1 ホームボタンを押す。
- 2 ▲▼◀▶ ボタンで⚙️(設定)を選び、決定ボタンを押す。
- 3 [音質・音声設定]を選び、決定ボタンを押す。
- 4 [ヘッドホン・音声外部出力設定]－[音声外部出力(固定)]を順に選び、決定ボタンを押す。

ヒント

- アナログ入力端子がある機器とテレビのスピーカーの両方から音を出すことができます。
ホームボタンを押して、⚙️(設定)－[音質・音声設定]－[ヘッドホン使用時設定]を順に選んでください。

BDレコーダーやゲーム機をHDMIケーブルなどでつなぐ

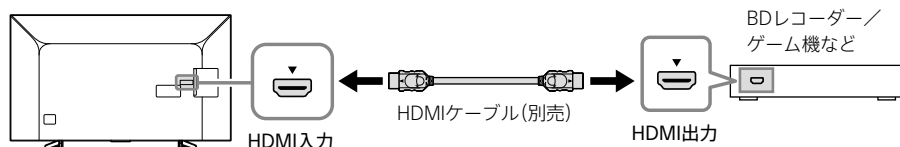
つなぐ機器にある映像出力端子の種類に応じて、つなぐ方法を選んでください。
BDレコーダーやゲーム機以外の機器でも、テレビに映像を表示する機器をつなぐ方法は同じです。

1 必要なケーブル(別売)を準備する。

- HDMI出力端子がある機器につなぐ場合
 - ソニー製のHigh Speed HDMIケーブル(1本)
- HDMI出力端子がある機器をつなぎ、4K 60p HDRなどの高精細なコンテンツを見る場合
 - ソニー製のプレミアムハイスピードHDMIケーブル(1本)
- ビデオ出力端子がある機器につなぐ場合
 - 映像・音声ケーブル(両方が赤白黄のピンプラグのもの)(1本)

2 準備したケーブルをテレビとつなぐ機器の端子につなぐ。

- HDMI出力端子がある機器につなぐ場合
ソニー製のHigh Speed HDMIケーブル(別売)を、テレビのHDMI入力端子とつなぐ機器のHDMI出力端子につなぐ。



- HDMI出力端子がある機器をつなぎ、4K 60p HDRなどの高精細なコンテンツを見る場合
ソニー製のプレミアムハイスピードHDMIケーブル(別売)を、テレビのHDMI 2または3入力端子と、つなぐ機器のHDMI出力端子につなぐ。

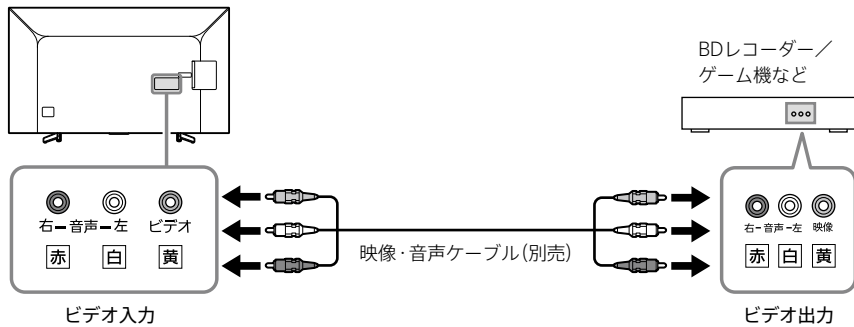


ヒント

- 4K 60p 4:4:4、4:2:2、または4K 60p 4:2:0 10ビットなど、より高精細なHDMIフォーマットで映像を表示するには、テレビの設定変更が必要です。
ホームボタンを押して、**設定** - [外部入力設定] - [HDMI信号フォーマット]を順に選び、4K 60p HDRなどの高精細なコンテンツに対応した機器につないでいるHDMI入力端子のフォーマットを[拡張フォーマット]に設定してください。
設定について詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

■ ビデオ出力端子がある機器につなぐ場合

映像・音声ケーブル(別売)を、テレビのビデオ入力端子とつなぐ機器のビデオ出力端子につなぐ。

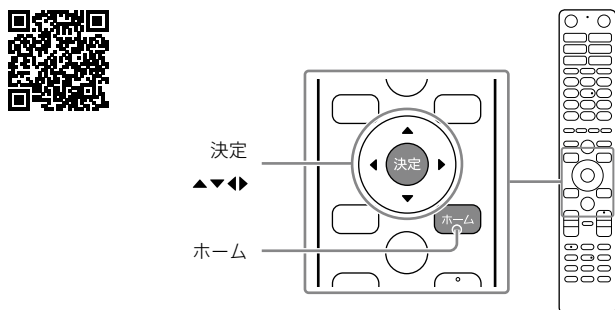


ブラビアリンク機能を使う

ブラビアリンクを設定する

テレビとBDレコーダーやホームシアターシステムなどのブラビアリンク対応機器をHDMIケーブルでつなぐと、テレビのリモコンでブラビアリンク対応機器を操作することができます。ブラビアリンクについて詳しくは、ブラビア サポートページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/tv/>



- 1 ブラビアリンク対応機器の電源を入れる。
- 2 テレビとブラビアリンク対応機器をHDMIケーブルでつなぐ (25 ページ)。
- 3 ホームボタンを押す。
- 4 ▲▼◀▶ ボタンで⚙️(設定)を選び、決定ボタンを押す。
- 5 [外部入力設定]を選び、決定ボタンを押す。

6 [ブラビアリンク設定]－[ブラビアリンク機器一覧]を順に選び、決定ボタンを押す。

7 ブラビアリンク対応機器が画面に表示されているかを確認する。

BDレコーダーをつないだ場合は、下記が画面に表示されていれば、ブラビアリンクの設定は完了です。

- [機器]：レコーダー X (Xには数字が表示されます)
- [入力端子]：つないだ端子名
- [種類]：HDD/BDまたは製品型名

8 ブラビアリンク対応機器が一覧に表示されていないときは、[ブラビアリンク設定]を選び、[ブラビアリンク機器制御]を有効にする。

ブラビアリンク対応機器のHDMI機器制御が有効になり、ブラビアリンク対応機器が画面に表示されていればブラビアリンクの設定は完了です。

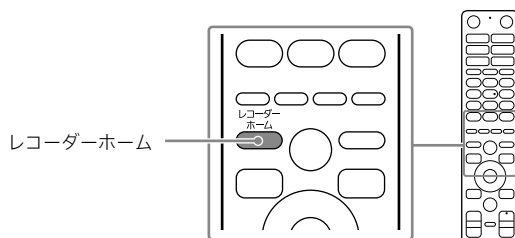
ご注意

- 上記の操作を行ってもブラビアリンク対応機器が一覧に表示されないときは、ブラビアリンク対応機器を操作してHDMI機器制御を有効にする必要があります。詳しくは、ブラビアリンク対応機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ブラビアリンクで操作する

BDレコーダーのメニューを操作するには

レコーダーホームボタンを押すと、ブラビアリンクで接続したBDレコーダーが起動し、BDレコーダーのメニューが表示されます。



1 レコーダーホームボタンを押す。

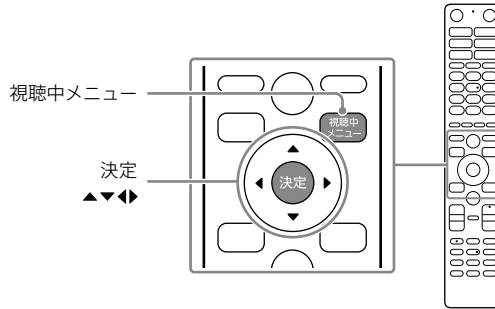
BDレコーダーのメニューが表示されたあとは、テレビのリモコンの ▲▼◀▶ ボタンと決定ボタンでメニューを操作できます。

電源オンと入出力切換を同時にするには

ブラビアリンク対応機器は、リンクメニューから入出力を切り換えることで電源が入り、画面や音声の入出力切換が連動して行われます。

ヒント

- BDレコーダーは、レコーダーホームボタンを押して起動することもできます。(28 ページ)



1 視聴中メニューボタンを押す。

2 ▲▼◀▶ ボタンで[リンクメニュー]を選び、決定ボタンを押す。



3 BDプレーヤーなどの画面を表示する場合は[つないだ機器を選ぶ]を、ホームシアターシステムから音声を出力する場合は[オーディオシステムに切り換える]を選び、決定ボタンを押す。

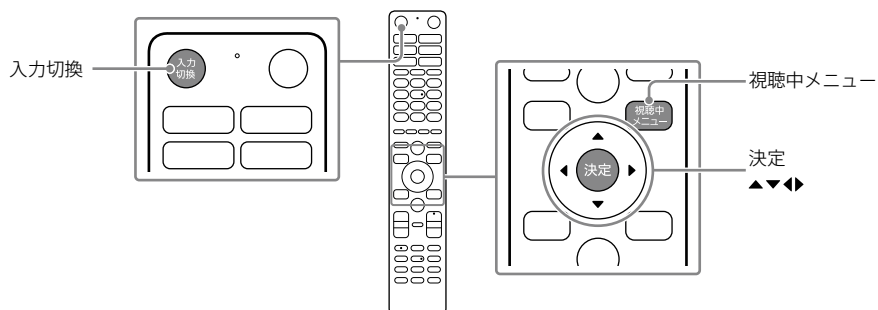
ホームシアターシステムからテレビに音声出力を切り換える場合は、[リンクメニュー]の[テレビスピーカーに切り換える]を選び、決定ボタンを押します。

ブラビアリンク対応機器のメニューを操作するには

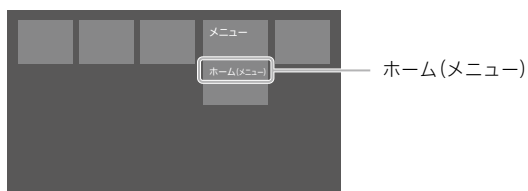
ブラビアリンクでつないだ機器のメニューを表示して、テレビのリモコンで操作できます。

ヒント

- BDレコーダーは、レコーダーホームボタンを押してメニューを表示することもできます。(28 ページ)



- 1 入力切替ボタンを押して、入力进行操作したい機器に切り換える。
- 2 視聴中メニューボタンを押す。
- 3 ▲▼◀▶ ボタンでメニューから[ホーム(メニュー)]を選び、決定ボタンを押す。

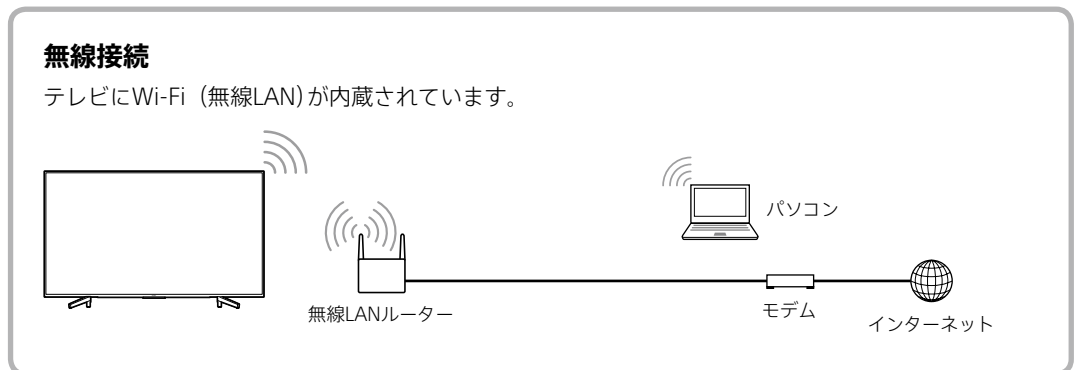
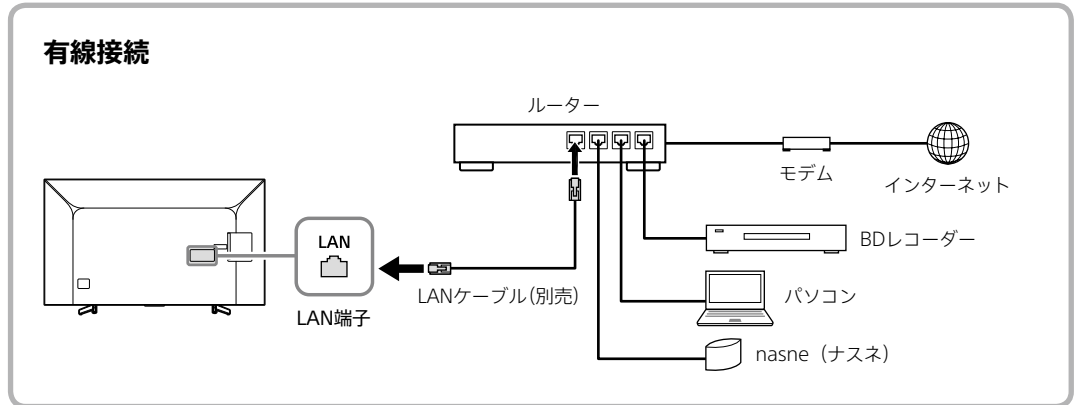


- 4 テレビのリモコンでブラビアリンク対応機器のメニューを操作する。

ネットワークにつなぐ(インターネット/ソニー ルームリンク)

テレビをインターネットに接続するためには、あらかじめインターネットを使用できる環境が必要です。お使いのパソコン、BDレコーダー、nasne (ナスネ)がインターネットに接続している場合、接続しているネットワーク環境にテレビを接続すると、テレビもインターネットに接続できます。インターネット接続環境について詳しくは、ご利用の回線事業者やプロバイダーにお問い合わせください。

テレビをインターネットに接続する方法として、有線接続と無線接続があります。



1 必要なもの(別売)を準備する。

■ 有線接続

- カテゴリー 5 (CAT5)以上のLANケーブル(1本)
- ルーター (1台)

(ヒント)

- ルーター機能付きのモデムをお使いの場合は、ルーターを別途準備する必要はありません。モデムの仕様については、お使いの回線事業者にお問い合わせください。
- ルーターのLAN端子が空いていない場合は、LAN用ハブを準備してください。

■ 無線接続

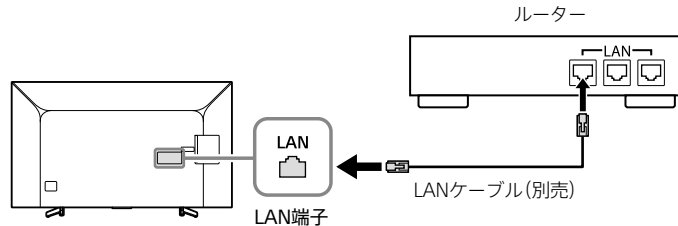
- 無線LANルーター (1台)

(ヒント)

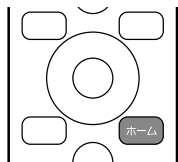
- 無線LANルーターのSSIDとセキュリティーキーを控えておいてください。
- セキュリティーキーの名称はメーカーによって異なります(「暗号化キー」、「暗号キー」、「KEY」、「ネットワークキー」、「パスワード」など)。

ルーターや無線LANルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧くださいか、ネットワークを設定した人(ネットワーク管理者)にお問い合わせください。

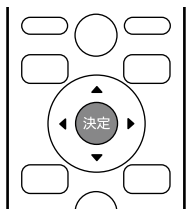
2 LANケーブル(別売)を、テレビのLAN端子とルーターのLAN端子につなぐ(有線接続のみ)。



3 リモコンのホームボタンを押す。



4 ▲▼◀▶ ボタンで⚙️(設定)を選び、決定ボタンを押す。



5 [通信設定]を選び、決定ボタンを押す。

6 [ネットワーク設定]ー[かんたん設定]を順に選び、決定ボタンを押す。

通常は[かんたん設定]を選びます。

IPアドレスやプロキシサーバー、SSIDなどを手動で設定する場合は、[高度な設定]を選んでください。

7 画面の指示に従って設定を完了させる。

ヒント

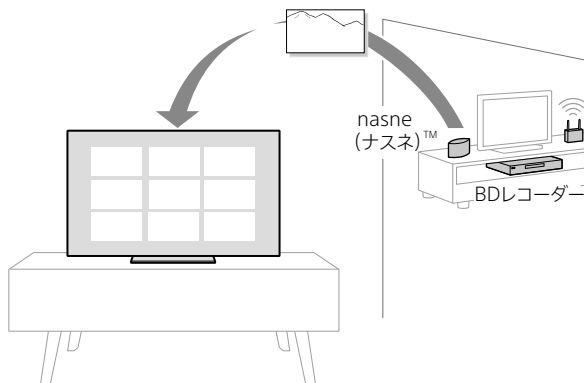
- 無線LANルーターの設定を変更できる場合は、802.11nまたは802.11acに設定してください。インターネットで動画をスムーズに再生できます。設定のしかたは、無線LANルーターの取扱説明書をご覧くださいか、ネットワークを設定した人(ネットワーク管理者)にお問い合わせください。
- ネットワークに接続できないときは、問題と対処の「インターネット」(43 ページ)をご覧ください。

ソニールームリンクについて

ネットワークに接続している機器同士をソニールームリンクでつなげば、他の部屋にある機器のコンテンツ(写真/音楽/映像)をテレビで楽しむことができます。

ソニールームリンクについて詳しくは、ブラビア サポートページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/tv/>



ネットワークにつないだ機器に録画する、見る

録画機器によっては設定が必要な場合があります。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。

録画予約するには

番組表から録画したい番組を選んで予約すれば、ネットワークにつないだ機器に録画できます。

ご注意

- データ放送は録画できません。
- テレビの不具合や受信障害など、何らかの原因で正しく録画できなかったなど、いかなる場合においても記録内容の保障および、それに付随するあらゆる損害において当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- 1 リモコンの番組表ボタンを押す。
- 2 ▲▼◀▶ ボタンで録画したい番組を選び、決定ボタンを押す。
- 3 [録画予約]を選び、決定ボタンを押す。
- 4 [録画機器]から録画したい機器を選び、決定ボタンを押す。
- 5 [予約確定]を選び、決定ボタンを押す。

録画予約を確認するには、番組表ボタンを押して番組表を表示し、フォーカスを左に動かしてメニューを開き、[予約リスト]を選びます。

録画した番組を見るには

- 1 リモコンの録画リストボタンを押す。
- 2 見たい番組を選び、決定ボタンを押す。
選んだ番組が再生されます。

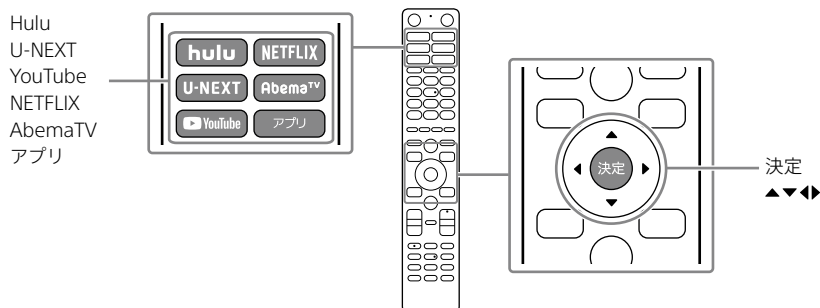
録画済み番組を削除するには

- 1 リモコンの録画リストボタンを押す。
- 2 削除したい番組を選び、視聴中メニューボタンを押す。
- 3 [削除]を選び、[決定]ボタンを押す。
- 4 削除する番組にチェック(✓)を付けて、[削除]を選び、決定ボタンを押す。

ネット動画を楽しむ

本機でネット動画を楽しむには、ホームメニューから動画サービスを選ぶだけでなく、リモコンのボタンから直接ネット動画サービスを起動することができます。

リモコンでネット動画サービスを選ぶ



1 テレビをインターネットにつなぐ(31 ページ)。

2 お好みのネット動画サービスのボタンを押す。

動画によってはログインが必要な場合があります。

その他の動画サービスを起動するには

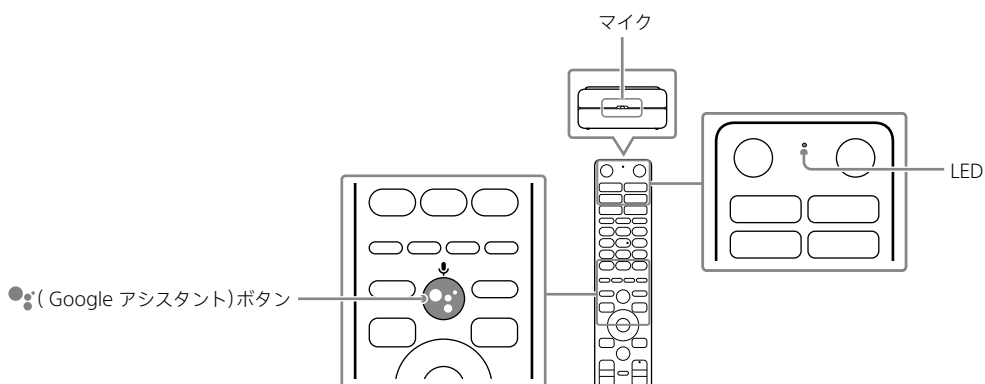
アプリボタンを押すと、その他のネット動画サービスを選んで起動できます。

1 テレビをインターネットにつなぐ(31 ページ)。

2 アプリボタンを押す。

3 ▲▼◀▶ ボタンでお好みのネット動画サービスを選び、決定ボタンを押す。

音声でコンテンツを検索する



- 1 テレビをインターネットにつなぐ。
音声でコンテンツを検索するには、インターネット接続が必要です(31 ページ)。
- 2 ●:(Google アシスタント)ボタンを押す。
- 3 リモコン上部のマイクに向かって検索キーワードを声で入力する。
リモコン上部のLEDが点灯している間に入力します。



スクリーンキーボードで検索するには

- 1 リモコンのホームボタンを押す。
- 2 ホームメニューの最上部からスクリーンキーボードアイコンを選び、決定ボタンを押す。



- 3 検索キーワードをスクリーンキーボードで入力する。

故障かな？と思ったら

テレビをご使用中にトラブルが発生したり、調べたいことがある場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてみてください。メッセージなどが表示される場合は、書き留めておくことをおすすめします。

1 テレビ本体をリセット(再起動)する

- ① リモコンの電源ボタンを、「電源を切る」とメッセージが画面に表示されるまで(約5秒間)押し続ける。
- ② 画面に「電源を切る」と表示されたら、電源ボタンから指を離す。
- ③ テレビの電源が切れ、自動で電源が入るまで1分程度待つ。

それでも解決しないときは、テレビの電源プラグを抜き、本体の電源ボタンを1回押してください。その後、2分間待ってから電源プラグを再度つないでください。

2 ソフトウェアの更新をする(インターネットにつないでいる場合)

リモコンのヘルプボタンを押して、[システムソフトウェアの更新]—[システムソフトウェアの更新データを確認]または[ソフトウェアの更新]—[本機のソフトウェアを更新]を選び、ソフトウェアを更新します。

3 本書やヘルプで調べる

本書の「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べます。見つからないときは、ヘルプボタンを押して、[困ったときは]を選び、該当する項目を調べます。

4 テレビの診断機能で調べる

ヘルプボタンを押して、[問題を解決する]または[問題の原因分析]で該当する項目を調べます。

5 サポートページで調べる

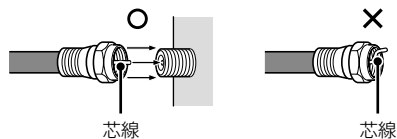
ブラビア サポートページ
<https://www.sony.jp/support/tv/>
最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を調べます。

6 それでも解決しないときは(裏表紙)

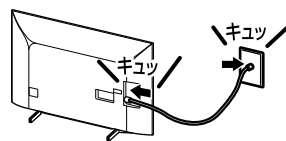
使い方相談窓口、修理相談窓口へご相談ください。

まず確認してください

アンテナケーブルの芯線が曲がったり折れたりしていないか、またアンテナケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

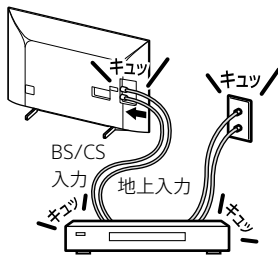


アンテナケーブルがゆるんでいませんか？
しっかりつないでください。



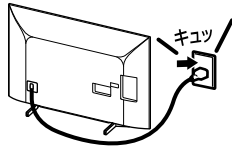
困ったときは

機器間のケーブルはゆるんでいませんか？

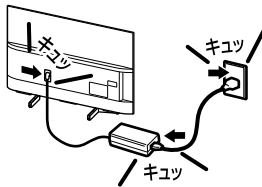


電源コードがゆるんでいませんか？
しっかりつないでください。

■ KJ-65/55X8000G

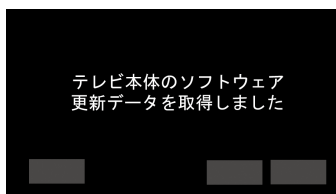


■ KJ-49/43X8000G



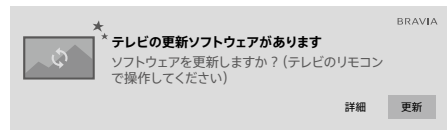
ソフトウェアの更新画面が表示されたら

以下の画面が表示された場合



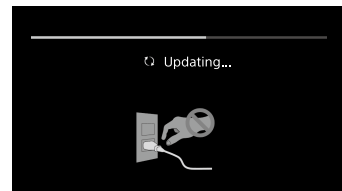
テレビのソフトウェアを最新のものに更新する準備が整ったことを伝えるメッセージです。テレビを視聴中または電源を入れたときに表示されますが、故障ではありません。このメッセージを消すには、[今すぐ更新] または [後で更新] を選び、ソフトウェアを更新してください。

以下の画面が表示された場合



最新のソフトウェアが見つかったことを伝えるメッセージです。テレビの電源を入れたときに表示されますが、故障ではありません(このメッセージは約15秒で消えます)。

[更新] を選ぶとソフトウェアの更新が始まります。メッセージが消えたあとにソフトウェアの更新を行うには、「故障かな? と思ったら」の「2 ソフトウェアの更新をする(インターネットにつないでいる場合)」(37 ページ)をご覧ください。



ソフトウェアの更新中は、テレビ前面のイルミネーションLEDが白色に点滅し、画面に「Updating...」と表示されます。更新には15分程度かかります。インストールしているアプリ数によっては、さらに長くなることがあります。

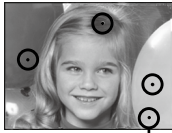
ソフトウェアの更新中はテレビを操作できません。ソフトウェアの更新が終了するまでお待ちください。ソフトウェアを自動で取得しないようにするには、リモコンのヘルプボタンを押して、[システムソフトウェアの更新] - [ソフトウェア自動取得] を選び、無効に設定してください。

ソフトウェアの更新内容については、ブラビア サポートページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/tv/>

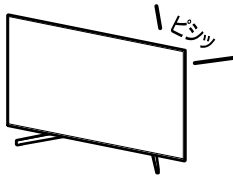
こんな場合は故障ではありません

画面に光る点、または光らない点がある。
液晶テレビの映像は、微細な画素の集合です。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。



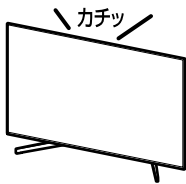
輝点・減点

「ピシッ」というきしみ音が出る。
電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出る場合があります。



電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。

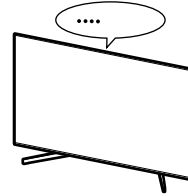
電源を入れたときは、内部の回路が動くため音がします。また、電源スタンバイ時は、データ受信やソフトウェアの更新のためにテレビの電源が自動的に入り、音がすることがあります。テレビ前面のイルミネーションLEDが点滅しますが故障ではありません。



電源が入らなくなった／画面や音が出なくなった／リモコンや機能が使えなくなった。

何らかの原因により、テレビが一時的に誤動作を起こしている可能性があります。リモコンの電源ボタンを5秒以上長く押し、電源を入れ直してください。それでも解決しないときは、テレビの電源プラグを抜き、本体の電源ボタンを1回押してください。その後、2分間待ってから電源プラグを再度つなぎ、本体の電源ボタンで電源を入れてください。

- 電源コードをつないだとき、システムの初期化に時間がかかるため、しばらくの間本体ボタン、リモコンで電源操作ができないことがあります。その場合1分程度待ってから操作してください。
- リモコン、本体ボタンで電源を入れたとき、イルミネーションLEDが点灯し、リモコン操作ができるようになるまで、しばらく時間がかかります。

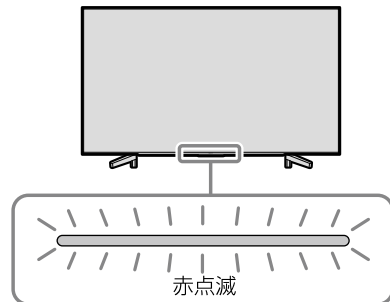


問題と対処

画面／画像

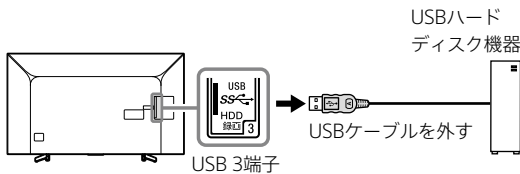
画面や音が出ない／リモコンや機能が使えない／イルミネーションLEDが赤色に点滅する。

- 画面が消え、テレビ前面のイルミネーションLEDが赤色に点滅するときは、テレビの自己診断機能により、テレビに何らかの異常が起きていることが見つかった可能性があります。テレビの電源プラグを抜き、イルミネーションLEDの点滅が止まるまでお待ちください。その後、電源プラグを再度つなぎ、本体の電源ボタンで電源を入れてください。イルミネーションLEDの点滅が続く場合は、点滅回数をご確認のうえ、ソニーご相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。点滅はおおよそ3秒おきに繰り返します。たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅... この場合の点滅回数は2回です。



困ったときは

- USBハードディスク機器が原因の場合があります。USBハードディスク機器が動作していないことを確認したあと、USBケーブルを一度テレビから外してみ、症状が発生するかご確認ください。ケーブルを外すと症状が発生しない場合は、USBハードディスク機器のメーカーにお問い合わせください。



画面が白くなる。

- 画面表示ボタンやホームボタンを押して、時計の時刻が合っているか確認してください。時刻が合っていないときは、ホームボタンを押して、**⚙️(設定)**－[日付と時刻]－[日付と時刻の自動設定]を[ネットワークの時刻と同期] *または有効に設定してください。* ネットワークに接続していない場合は、[放送の時刻と同期]に設定してください。

画面が暗い。

- 画面の明るさは、画質設定によって異なります。画面を明るい設定にするには、視聴中メニューボタンを押して、[画面と音声]－[画質]を選び、[画質モード]を[ダイナミック]に設定してください。

画像が乱れる。

- アンテナ線を電源コードからできるだけ離してください。
- テレビの近くで携帯電話や電子レンジ、掃除機などを使用すると、映像や音声が一時的に乱れることがあります。

映像が引き伸ばされて映る。または画面サイズが小さい。

- [オートワイド]が無効に設定されていませんか。[オートワイド]は映像に適した画面サイズを自動的に判断します。ホームボタンを押して、**⚙️(設定)**－[画質・映像設定]－[画面モード]を選び、[オートワイド]の設定が有効になっているか確認してください。それでも改善しない場合は、視聴中メニューボタンを押して[ワイド切換]を選んでください。

表示されない設定項目がある。

- 受信している放送や設定/調整状況によっては、表示されない項目や設定できない項目があります。

メッセージ表示

「テレビ本体のソフトウェア更新データを取得しました。」と表示される。

- 本機を最新の状態に保つために、デジタル放送またはネットワークから最新情報をダウンロードして、ソフトウェアを更新する必要があります。詳しくは38 ページをご覧ください。

「B-CASカードを入れてください。」というメッセージが表示され、デジタル放送が視聴できない。

- B-CASカードの向きを確認してください。(7 ページ)

ブロックノイズやE201/E202のエラー表示が出て見られない。

- アンテナケーブルの差し込み口を間違えていないか(テレビ側/接続機器/壁側)、ケーブルが古かったり、コネクタ内部でショートしたりしていないか確認してください。

ホームメニューに、Wi-Fiに接続していないというメッセージが表示される。

- テレビがインターネットに接続されていない場合は、ホームメニューの上部にメッセージが表示されます。メッセージを消すには[閉じる]を選んでください。

電源を入れると、画面の右上にメッセージが表示される。

- インターネットに接続されていないなど、テレビの状態を知らせるメッセージです。異常ではありません。

音声

画像は出るが、音が出ない。

- 音量が下がりきっていないか確認してください。
- リモコンの消音ボタンまたは音量+ボタンを押してください。
- ホームボタンを押して、**⚙️(設定)**－[音質・音声設定]－[スピーカー出力]を[テレビスピーカー]に設定してください。

聞きたい音声になっていない。

- 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっている場合は、音声切換ボタンを押して、音声を切り換えてください。

放送受信

地上デジタルの放送局のマークが表示されない。

- 地上デジタルの各放送局をしばらく視聴すると、放送局のマークが表示されます。

テレビを視聴中、突然画面が見覚えのない動画に変わってしまう。

- デモモードが有効になっています。
ホームボタンを押して、**⚙️**(設定)－[店頭展示設定]を選び、[デモモード]と[店頭リセットモード]を無効に設定してください。

地上デジタルが受信できない。

- 地上デジタルの入力を選んでいない可能性があります。
リモコンの地デジボタンを押してください。
ホームメニュー表示中など、画面にテレビ放送を表示していない場合は、リモコンのテレビボタンを押してから地デジボタンを押します。
- アンテナの設置やブースターの設定が正しいか確認してください。アンテナの設置やブースターの設定について詳しくは、アンテナやブースターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 電波の送信元付近の地域にお住まいの場合、地上デジタルの電波が強く、近隣のチャンネルなどの干渉を受けて、アンテナレベルが低くなる場合があります。
ホームボタンを押して、**⚙️**(設定)－[放送受信設定]－[アンテナ設定]を選び、[地上アッテネーター]を有効に設定してください。
- 引っ越ししたり、新しく開始された放送を受信したいときは、放送受信設定をやり直してください。ホームボタンを押して、**⚙️**(設定)－[放送受信設定]－[デジタル放送受信]－[地域設定(県域)]を選び、お住まいの地域を設定したあとに、[自動チャンネル設定]を選んでチャンネルスキャンをしてください。

BSデジタル／110度CSデジタルが受信できない。

- 衛星アンテナの設置が正しいかご確認ください。衛星アンテナの設置について詳しくは、衛星アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 見たい放送／接続している機器の入力を選んでいるか確認してください。
- マンションなどの共同受信システム以外の場合、ホームボタンを押して、**⚙️**(設定)－[放送受信設定]－[アンテナ設定]－[衛星アンテナ設定]を[オート]に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は[切]に設定してください。

- 電源プラグを抜き、BS/CSデジタル対応アンテナケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。
- ケーブルテレビ(CATV)でBSデジタル／110度CSデジタルを受信している場合、ケーブルテレビ放送会社の再送信方式によっては本機で受信できない場合があります(本機が対応しているのはパススルー方式のみです)。詳しくはケーブルテレビ放送会社にご確認ください。

BSデジタル／110度CSデジタルの画像が乱れる。

- 雨や雪が降ると映りが悪くなる場合があります。また、お住まいの地域が晴れていても、送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなる場合があります。この場合、「降雨対応放送に切り換わりました。(エラーコード：E201)」というメッセージが表示されることがあります。天候の回復をお待ちください。

チャンネル切り換えが遅い。

- ホームボタンを押して、**⚙️**(設定)－[放送受信設定]－[放送受信詳細設定]－[お知らせタイトル]を無効に設定してください。

番組表が表示されない。

- 放送が受信できているか確認してください。受信できないときは、「地上デジタルが受信できない。」(41 ページ)、「BSデジタル／110度CSデジタルが受信できない。」(41 ページ)をご覧ください。
- 時計の時刻が合っているか確認してください。時刻が合っていないときは、ホームボタンを押して、**⚙️**(設定)－[日付と時刻]－[日付と時刻の自動設定]を[ネットワークの時刻と同期] *または有効に設定してください。
* ネットワークに接続していない場合は、[放送の時刻と同期]に設定してください。

接続機器

つないだ機器の画像が表示されない。

- つないだ機器の電源が入っているか確認してください。
- 接続ケーブルの端子部分がしっかりと接続端子に差し込まれているか確認してください。
- リモコンの入力切り換えボタンを押して、つないだ機器の入力を選んでいるか確認してください。

ブラビアリンクが効かなくなりました。

- 以下の順序でブラビアリンクの設定をし直してください。
 - 1 テレビの電源プラグを抜き、本体の電源ボタンを1回押す。2分間待ってから電源プラグを再度つなぎ、本体の電源ボタンで電源を入れる。
 - 2 HDMIケーブルを接続し直す。
 - 3 ブラビアリンクの設定をし直す(27 ページ)。

リモコン

リモコンでテレビを操作できない。

- 電池切れの可能性があります。リモコンの電池を交換してください。電池の+/-を正しい向きに合わせて、一極側から電池を入れてください。
- テレビ以外の接続機器が操作されてしまう場合は、ブラビアリンク対応機器の操作をする設定になっている可能性があります。ホームボタンを押し、テレビを操作してください。
- リモコンの代わりにテレビ背面のボタンで操作してください(6 ページ)。

操作したくないテレビも一緒に動いてしまう。

- テレビの前面にあるリモコン受光部は、同じ種類の赤外線リモコンからの信号を受け取るため、2台以上のテレビが同じ方向を向いていると、同時に動作してしまう場合があります。テレビの向きを変えたり、リモコンを操作する向きや場所を変えて改善されるかご確認ください。

音声で検索できない。

- リモコンの電池を交換してください。
- ホームボタンを押し、**⚙️**(設定) - [Bluetooth設定] で [Bluetooth] を一度無効にしてから有効に設定してください。

録画

「故障かな?と思ったら」(37 ページ)を参考にテレビの再起動、またはソフトウェアの更新を試してください。

USBハードディスク機器が使用できない/登録できない。

- USBハードディスク機器がテレビに対応しているかご確認ください。テレビに対応しているUSBハードディスク機器について詳しくは、ブラビア サポートページ <https://www.sony.jp/support/tv/> をご覧ください。
- 「HDD録画」と書かれたテレビのUSB 3端子(青)に、USBハードディスク機器が繋がっているか確認してください。
- USB 3端子(青)に正しく接続されている場合は、USBハードディスク機器がすでに録画用以外の機器として登録されています。「[端末のストレージ]として登録されたUSBハードディスク機器を録画用として登録するには」(17 ページ)をご覧ください。
- USBハードディスク機器のUSBケーブルを一度テレビから抜き、再度つないで改善されるか確認してください。
- ホームボタンを押し、**⚙️**(設定) - [録画機器設定] - [HDD診断] を選び、USBハードディスク機器に問題がないか確認してください。

録画できない、録画されていなかった。

- ホームボタンを押し、[番組ガイド] - [録画リスト] - [録画エラーリスト] を選び、原因を確認してください。
- 時計の時刻が合っているか確認してください。時刻が合っていないときは、ホームボタンを押し、**⚙️**(設定) - [日付と時刻] - [日付と時刻の自動設定] を [ネットワークの時刻と同期] *または有効に設定してください。
* ネットワークに接続していない場合は、[放送の時刻と同期]に設定してください。


録画した番組が消えた。

- 録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜くと、録画中の番組は保存されません。プラグやケーブルを抜くと、USBハードディスク機器に保存されているすべての番組が削除されることがあります。
- 録画番組の一覧が表示された状態でリモコンの視聴中メニューボタンを押し、[絞り込み]を選んでください。チェックが外れている場合は、チェックを入れてください。

電源を入れていないのに、USBハードディスク機器が動作する。

- 本機は電源スタンバイ中に番組表などのデータ取得を行うことがあります。その際、接続されているUSBハードディスク機器が一時的に動作したり、ランプが点灯したりすることがあります。

ネットワークにつないだ機器が[録画機器]に表示されない。

- 録画先機器の電源を入れた状態で、リモコンのホームボタンを押し、 (設定) - [録画機器設定] - [サーバー設定] - [サーバーリスト更新] を選んでください。

インターネット

インターネットに接続できない。

- LANケーブルやネットワーク機器の電源コードが外れていないか確認してください。
- 本機と無線LANルーターの設置場所を確認してください。電波状況の影響を受けている可能性があります。
 - 他の無線機器や電子レンジ、蛍光灯から離してください。
 - 無線LANルーターと本機の間には床や壁がない状態にしてください。
 - 前述の対処を行っても正常に動作しない場合は有線LAN接続をおすすめします。
- <ネットワーク設定の接続診断結果で、有線(無線)LAN接続：成功、ローカル接続：成功、インターネット接続：失敗の場合>
ルーター(ブロードバンドルーター)でプロバイダーの設定(PPPoE)がされていない可能性があります。ルーターでの設定方法については、ルーターの取扱説明書やホームページをご覧ください。プロバイダーへ接続するための情報(アカウント名やパスワードなど)が不明な場合は、プロバイダーにお問い合わせください。
- <ネットワーク設定の接続診断結果で、有線(無線)LAN接続：成功、ローカル接続：失敗、インターネット接続：失敗の場合>
ルーター機能が「切」になっている場合があります。ルーター本体の「ルーター機能スイッチ」が「切」になっている場合は、「入」にして改善するかご確認ください。セキュリティキー(WPAキー)を手動で入力されている場合は、入力した内容が誤っている可能性があります。再度入力しなおしてください。SSIDを手動で入力されている場合は、入力した内容が誤っている可能性があります。再度入力してみてください。

セキュリティキー、SSIDがわからない場合はルーターの取扱説明書やホームページをご覧ください。メーカーへお問い合わせください。

- <ネットワーク設定の接続診断結果で、無線LAN機器：切、ローカル接続：失敗、インターネット接続：失敗の場合>
[内蔵Wi-Fi]を有効に設定してください。
- <ネットワーク設定の接続診断結果で、有線(無線)LAN接続：失敗(認識しません)、ローカル接続：失敗、インターネット接続：失敗の場合>
有線の場合は、LANケーブルの接続を確認してください。無線の場合はテレビの電源プラグを抜き、しばらく時間をおいてから再度つなぎ、本体の電源ボタンで電源を入れてください。

接続したい無線LANルーターのSSIDが表示されない。

- 無線LANルーターの電源を入れ直してください。

その他

本機の周辺が熱い。

- 長時間使用したときなどに、本機の正面や背面、上部、底部が熱くなり、手で触れると熱く感じることがありますが異常ではありません。

画面上で矢印マークが回転表示され、テレビ前面のイルミネーションLEDが白色に点滅する。

- テレビが自動的にソフトウェアを更新しています。異常ではありません。更新には15分程度かかります。インストールしているアプリ数によっては、さらなる長くなることがあります。ソフトウェアの更新中はテレビを操作できません。

ケーブルテレビをご利用の場合

ケーブルテレビ放送会社にご相談ください。
ケーブルテレビ放送会社の連絡先がわからないときは、
下記までお問い合わせください。

(社)日本ケーブルテレビ連盟 電話：03-6228-6639
提供地域(エリア)については、下記ホームページでご確認
ください。

<https://www.catv-jcta.jp/>

有料放送のお問い合わせ先

- WOWOW
電話：0120-580-807
<http://www.wowow.co.jp/>
- スター・チャンネルカスタマーセンター
電話：0570-013-111または044-540-0809
<https://www.star-ch.jp/>
- スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）
電話番号：0120-039-888
受付時間：10:00～20:00<年中無休>
<https://www.skyperfectv.co.jp/>

サポートページで最新の情報を調べる

インターネットにつながっているパソコンやスマートフォンなどを使って、テレビの最新情報や困ったときの解決方法をブラビア サポートページで調べることができます。

1 インターネットにつながっているパソコンやスマートフォンなどで、ブラウザのアドレス欄に下記のURLを入力する。

ブラビア サポートページでは以下の情報を見ることができます。

<https://www.sony.jp/support/tv/>

- 困ったときは(Q&A)
- ソフトウェアの更新情報
- 他機器との接続情報
- 使いかたの詳しい説明



ご注意

- サポートページの内容は、2019年1月現在のものです。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーご相談窓口へ

- 裏表紙にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。
- BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）(IP電話からの場合045-680-2868)にお問い合わせください。
- デジタル放送全般については(社)放送サービス高度化推進協会(A-PAB)のホームページをご覧ください。
<http://www.apab.or.jp/>

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは、保証書をご覧ください。

何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器(“メモリースティック”、デジタルレコーディングハードディスクドライブなど)に記録できなかった場合や、外部メディア・外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換する場合がありますのでご了承ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名: KJ-65X8000G KJ-55X8000G
KJ-49X8000G KJ-43X8000G

故障の状態: できるだけ詳しく

購入年月日:

本機の型名、シリアルナンバーおよび定格は、本機背面に記載されています。

ACパワーアダプターの機種名とシリアルナンバーはACパワーアダプターの底面に表示されています。

お買い上げ店

TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

安全のために



下記の注意を守らないと**火災・感電・破裂**などにより**死亡**や**大けが**などの人身事故が生じます。

次のことを守って、スタンドを本機に設置する

本機を不安定な場所に設置しないでください。本機が落下し、大けがまたは死亡の原因となります。

大けがを避けるため、以下のことを守って本機を設置してください。

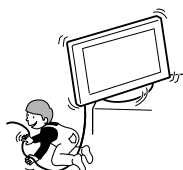
- ソニーが推奨するキャビネット、またはスタンドを使用する。
- 本機を安全に設置できるテレビ台のみ使用する。
- 本機を設置する際、テレビ台の端から本機がはみ出していないか確かめる。
- 固定されていない背の高い家具(例えば、食器棚や本棚)に本機を設置しない。
- 本機とテレビ台の間に布などを敷かない。
- お子さまをテレビ台に登らせない。
- お子さまを本機に近づけない。

本機を保管、再設置する場合にも上記のことを必ず守ってください。

乳幼児がコードを引っ張る恐れのない場所に電源コードや信号ケーブルを配置してください。



禁止



不安定な場所に置かない

本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。

平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。

テレビが落下し、大けがまたは死亡の原因となる可能性があります。

壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない

- 専門業者以外の人に取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともテレビの質量の4倍に耐えられる強度が必要です。(テレビの質量は、56ページをご覧ください。)
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。



禁止

転倒防止の処置を必ず行う

転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などと本機の間、適切な転倒防止の処置を行ってください。(転倒防止の処置については55ページをご覧ください。)



禁止



本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。



禁止



人が通行するような場所に置かない

コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。

人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。

テレビ以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。



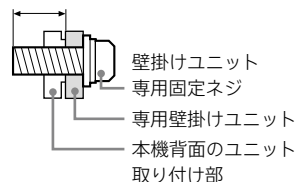
禁止

次のことを守って、壁掛けユニットに本機を設置する

誤った取り付け方法で設置すると、本機が落下し、大けがをすることがあります。

- 壁掛けユニットの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 壁掛けユニットの取り付けに際しては、壁掛けユニットに同梱されている専用固定ネジを使う。専用固定ネジは、取付金具の取り付け面からの長さが図のように設定されています(壁掛けユニットによってネジの長さは異なります)。専用固定ネジ以外のネジを使用すると、落下や本機内部の破損の原因になります。

8 ~ 12 mm

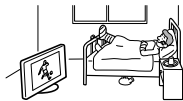


禁止



本機を医療機関に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

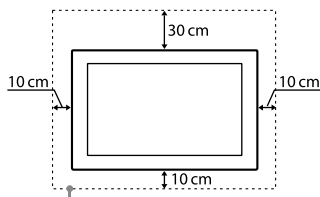
周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けずに設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。

本機を壁に近づけすぎると、壁などにほりかきが付着し、黒くなることがあります。

風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

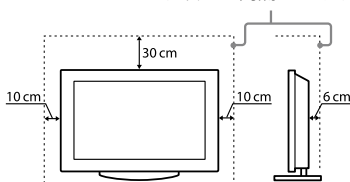
壁に取り付けるとき



これ以上の間隔を空ける。

スタンドを使用するとき

これ以上の間隔を空ける。



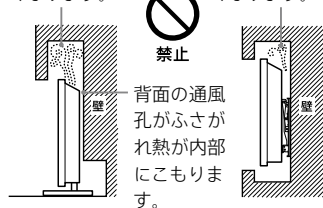
下図のような設置はおやめください。

空気が抜けなくなります。

空気が抜けなくなります。



禁止



背面の通風孔がふさがれ熱が内部にこもりま
す。

通風孔をふさがらない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- おお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。
- 壁や家具に密着して置かない。また毛足の長いじゅうたんや布団などの上に置かない。
- 本機の下に物を置かない。



禁止



ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。



禁止



電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。

他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差ししてください。

電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグを持って抜いてください。

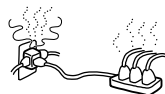
電源(コード、プラグ)

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V (50/60 Hz) 以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止



電源プラグは定期的にお手入れ

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。



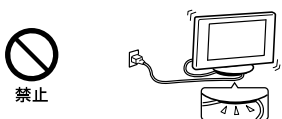
お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



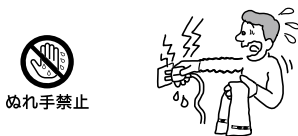
電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーご相談窓口へ交換をご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



付属のACパワーアダプターを使用する (KJ-49/43X8000Gのみ)

ACパワーアダプターのあるテレビでは、付属以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

ACパワーアダプターのあるテレビでは、ACパワーアダプターに布団などをかけたり、上にものを置いたりした状態で使わない (KJ-49/43X8000Gのみ)

高温となるため、せまい空間での使用を避けて、熱がこもらないよう充分なスペースを空けてください。

熱がこもってケースが変形することがあります。また、火災や、やけどの原因となります。

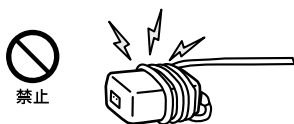
以下の使用方法を必ず守って、本機をお使いください。

- ACパワーアダプターのまわりに物を置かない。
- ACパワーアダプターを布などでおおわない。
- 2つ以上のACパワーアダプターを重ねない。
- ACパワーアダプターを箱などに入れない。



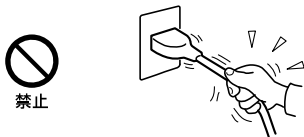
ACパワーアダプターのコードや電源コードをACパワーアダプターに巻き付けない (KJ-49/43X8000Gのみ)

断線や故障の原因となることがあります。

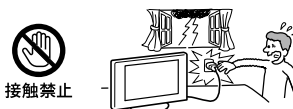


電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



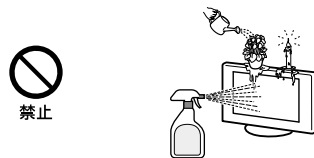
雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない感電の原因となります。



使用

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない
液晶画面や本機の背面など機器全体に直接水や洗剤をかけない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。



リモコン及び電池の取り扱いについて

- 直射日光が当たるところ、火や暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。
- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。

本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因となることがあります。



接触禁止

目や口に液晶を入れない／ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。

また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。においを嗅ぐこともやめてください。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



接触禁止

移動、設置

正しい方法で運搬／移動する

- 誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。本機を持ち運ぶ際には、取扱説明書をご参照の上、正しい方法で行ってください。
- 本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

人がぶつかりやすい場所に置かない

水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。銭湯や温泉の脱衣所などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより本機が故障したりします。



風呂・シャワー室での使用禁止



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

湿気、ほこりの多いところ、油煙や湿気が当たるようなところ(調理台や加湿器のそば)におかないでください。火災・感電・変形などの原因となることがあります。



禁止



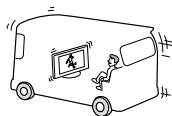
乗物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。



禁止



可動式の台に設置しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。

海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。



禁止



壁掛け設置

テレビがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのテレビがはみ出してしまうような場所には取り付けしないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。



禁止



テレビを取り付けたあとはネジなどをはずさない

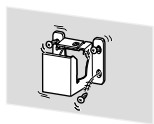
テレビが落ちて、けがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはテレビを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ(必要本数以上)で、しっかりと固定してください。



取扱説明書の説明に従って、付属のネジと取り付け金具を使う

付属品を使わずに代替品を使用して取り付けると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因になります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

テレビが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業中にテレビに衝撃を与えない

テレビが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にテレビを取り付ける

垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、テレビが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

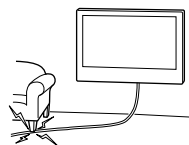
ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、テレビを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。



禁止



壁の材質や構造に適したネジを使う

壁掛けユニットを壁面に固定するネジを付属していません。壁の材質や構造に適したネジをご準備ください。

本機を床に垂直に設置し固定する

本機を傾けた状態で設置すると、テレビが落下して、けがや破損の原因となります。



注意

下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。



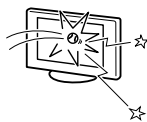
プラグをコンセントから抜く

液晶画面の表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。



禁止



液晶画面の外周に衝撃を与えない

ガラスの縁にヒビが入ったり、飛び散ったガラスにより、ケガの原因となります。



音量について

周辺の人を迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。

ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができなくなるくらいの音量で聞きましょう。



アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、テレビの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。テレビの落下によるけがや破損の原因となります。

リモコンによる遠隔操作について

無線リモコン、またはVideo & TV SideViewなどのアプリを搭載したスマートフォン/タブレットのリモコン機能による遠隔操作は、本機が見える位置からのみ行ってください。

同軸ケーブルの接続について

同軸ケーブルを接続する際、同じコンセントのアースにほかの機器が接続された状態、またはアースに接続されたほかの機器を通じて接続しないでください。火災の原因となる可能性があります。同軸ケーブルの接続は 特定の周波数範囲(ガルバニックアイソレーター、EN 60728-11を参照)よりも低い電力絶縁体を備えた機器を通して行ってください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

危険

- 電池を直射日光、火のそばなどの高温になる場所や、極端に低い気圧になる場所に置かないでください。爆発、液漏れ、ガス漏れする可能性があります。

警告

- 火の中に入れてはいけません。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 指定された種類の電池以外使用しない。誤った型式の電池を使用すると、爆発する可能性があります。

注意

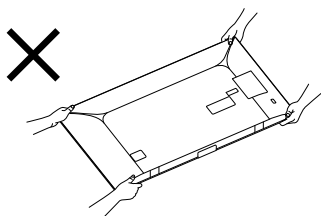
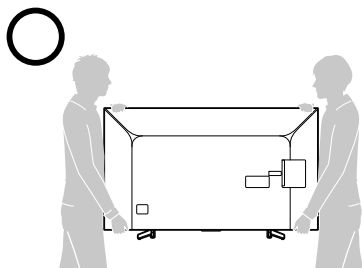
- 指定された種類の電池を使用する。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

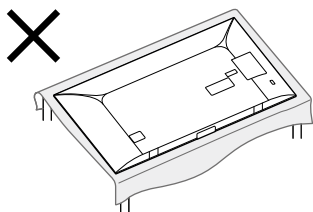
使用上のご注意／お手入れ

運搬／設置について

- 大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。
テレビの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。

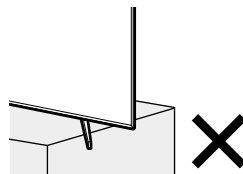


- 運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大げがの原因となります。
特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
- スタンドや壁掛けユニットの取り付け作業時に、テレビ画面を下に向けて置かないでください。(KJ-65/55X8000Gのみ)



- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。
- 本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときや、湿気が多い場所や暖房を入れたばかりの部屋などでは、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは、本機の電源を切り、結露がなくなるまで放置してからご使用ください。

- テレビ台からはみ出さないように設置してください。スタンド設置時には、お子さまが近づかないようにご注意ください。



- 壁掛けユニットにテレビを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、テレビの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、外した場合に、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。
- 壁に取り付ける場合、機械的振動の多い場所には設置しないでください。

液晶画面について

- 画面を太陽に向けたままにしないでください。画面を傷める原因になります。
- 液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。
- 長時間使用したあとに液晶画面の外周を触ると、熱く感じる場合があります。
- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(滅点)が表れたりしますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

電源コードが同梱されている機種について

同梱されている電源コードはその機種専用のもので、他の機器では使用しないでください。

ACパワーアダプターについて (KJ-49/43X8000Gのみ)

長時間使用した場合、ACパワーアダプターを触ると熱く感じる場合がありますが、故障ではありません。

LAN端子に接続する機器について

電気通信事業法に基づく認定品に接続してください。

無線の周波数について

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のソニーご相談窓口にお問い合わせいただき、混信回避のための処理など(たとえばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のソニーご相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

2.4FH/XX8

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。
変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の方式を採用し、与干渉距離は80 mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解/改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

メモリーに保存されるデータについて

- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマークなどが、また、ご使用にあたって番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。データを消去するにはホームボタンを押して、**⚙️(設定)**-[ストレージとリセット]-[データの初期化]-[すべて消去]を選びます。ネットワークサービスをご利用の場合はログアウト処理も行ってください。消去によりアカウントやパスワードなどが消えてしまうサービスもあります。消去前に記録しておいてください。

- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

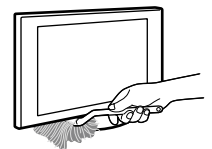
廃棄について

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お手入れ

誤ったお手入れをした場合、テレビを傷つけたり、故障の原因にもなりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、次のことを必ずお守りください。

- 本機に直接水や洗剤をかけないでください。吹きかけた水や洗剤が画面下部や外装部にたれて本機が故障する場合があります。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤などに布を浸して固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください。
- テレビの下は柄つきのモップなどを使用してください。狭いので手を入れて掃除しないでください。



- 軽い汚れをふき取るときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。
- 市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどは、販売元に確認してから使用してください。
- 印刷面は乾いた柔らかい布で丁寧にふいてください。爪などで引っかくと、印刷面が傷つくことがあります。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。

以下のことは行わない

- 殺虫剤やシンナー、ベンジンのような揮発性のもの、クレンザーのような研磨剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ふき取るときの圧力で、液晶配列が崩れて、汚れのように見えることがあります。これは、電源を入れ直すと元に戻ります。
- 画面の汚れをふき取るときは、スピーカー部を持ったり、画面に圧力をかけたりしないでください。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 市販の液晶パネル用保護フィルターなどは使わないでください。
- ハンドクリーム、日焼け止めクリームなどが手に付いた状態で本機に触らないでください。変色、変形の原因になります。




再設置／チャンネル設定をやり直す

再設置するには

再設置のしかたは、組み立て／設置ガイド(別紙)をご覧ください。
組み立て／設置ガイドはWebサイトからダウンロードすることもできます。

チャンネル設定をやり直すには

引っ越ししたり、新しく開始された放送を受信したいときは、チャンネル設定をやり直してください。

- 1 ホームボタンを押して、 (設定)－[放送受信設定]－[デジタル放送受信]を選び、お使いの地域を設定する。
- 2 [自動チャンネル設定]を選んでチャンネルスキャンする。

テレビを壁に取り付けて使う

テレビの機種によって、お使いいただける別売の壁掛けユニットの型名が異なります。「主な仕様」(56ページ)をご覧ください。お持ちのテレビに対応している壁掛けユニットをお使いください。

壁に取り付ける場合は、必ず指定の壁掛けユニットを使用し、専門業者に取り付けを依頼してください。

また、取り付け時には設置関係者以外近づかないでください。

専門業者以外の方が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下したりして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

壁掛けユニットを取り付けるには、テレビに取り付けたスタンドを外し、壁の取り付け位置の確認をしたり、テレビに必要な部品を取り付ける必要があります。

取り付けかたについて詳しくは、壁掛けユニットに付属の取扱説明書およびガイドと、Webサイトから「壁掛けユニット取付方法」(PDF)をダウンロードしてご確認ください。

取扱説明書や組み立て／設置ガイド、壁掛けユニット取付方法、寸法図などのダウンロードはこちらをご覧ください。

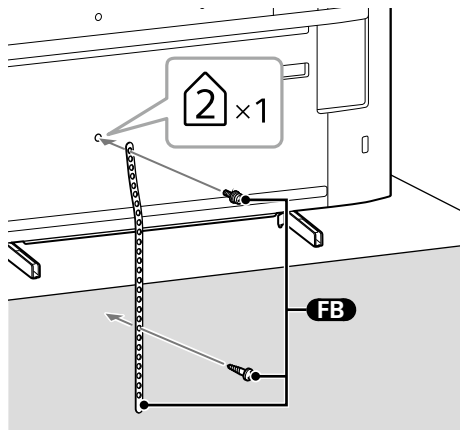
ブラビア サポートページ <https://www.sony.jp/support/tv/>



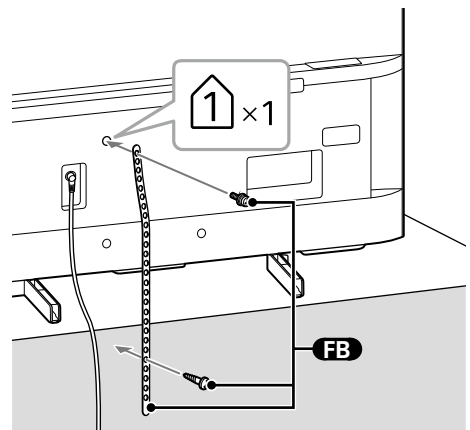
転倒防止用ベルトを取り付ける

1 転倒防止用ベルトを取り付ける。

■ KJ-65/55X8000G



■ KJ-49/43X8000G



ヒント

- 付属の木ネジが使えない場合や、強度が不十分な場合は、お買い上げ店や工事店にご相談のうえ、市販のネジ(直径4 mm)をお使いください。

主な仕様

システム

受信方式

地上デジタル放送方式、BSデジタル放送方式、110度CSデジタル放送方式

受信チャンネル

地上デジタル(VHF:1～12、UHF:13～62、CATV:C13～C63)

CATVはケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要

BSデジタル・110度CSデジタル(テレビ・ラジオ・独立データ)の各チャンネル

BSデジタル・110度CSデジタル対応周波数

1032 MHz～2071 MHz

パネルシステム

LCDパネル、LEDバックライト

使用スピーカー

KJ-65/55X8000G :
フルレンジ35×90 mm (2)
KJ-49/43X8000G :
フルレンジ30×80 mm (2)

音声出力(実用最大出力)

10 W+10 W

無線技術

プロトコル IEEE802.11ac/a/b/g/n
Bluetooth Version 4.1

入出力端子

アンテナ端子

地上デジタル 75Ω F型コネクター、
BS/110度CS IF 75Ω F型コネクター
(コンバーター用電源出力、DC15 V、最大
4 W、芯線側+、メニューにてオート/
入/切を切り換え)

ビデオ入力端子

映像 : ピンジャック
音声 : ピンジャック、2チャンネル

HDMI 1～4入力端子(4K対応、HDCP 2.3対応)

映像 : 480i、480p、720p (30、60 Hz)、
720/24p、1080i (60 Hz)、1080p (30、
60 Hz)、1080/24p、3840×2160p (24、
30、60 Hz) *1 *2、4096×2160p (24、
60 Hz) *1 *2、PCフォーマット*3

*1 より高精彩なHDMIフォーマット(4K
60p 4:4:4、4:2:2、または4K 60p 4:2:0
10ビットなど)での映像表示は、HDMI
2/3入力のみ対応しています。映像を
表示するには[HDMI信号フォーマット]
を[拡張フォーマット]に変更してく
ださい(25 ページ)。

*2 4096×2160p入力で[ワイド切換]が
[ノーマル]に設定されている場合は、
3840×2160pで表示されます。4096
×2160pで表示するには、[ワイド切換]
を[フル1]または[フル2]に設定してく
ださい。

*3 詳しくはヘルプガイドをご覧ください。
音声 : 5.1チャンネル リニアPCM
32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
16/20/24ビット、ドルビーデジタル、ドル
ビーデジタルプラス、DTS、MPEG2 AAC
(デジタル放送)
Audio Return Channel (ARC) 対応
(HDMI 3入力のみ) (2チャンネル リニア
PCM (48 kHz 16ビット)、ドルビーデジ
タル、ドルビーデジタルプラス、DTS、
MPEG2 AAC (デジタル放送))

音声出力端子(ヘッドホン端子兼用)
ステレオミニジャック(サブウーファー対
応)

光デジタル音声出力端子

角型端子、2チャンネル リニアPCM (48
kHz 16ビット)、ドルビーデジタル、DTS、
MPEG2 AAC (デジタル放送)

HDMI 1音声入力端子

アナログ音声入力(ステレオミニジャッ
ク)

LAN (10/100) 端子

10BASE-T/100BASE-TXコネクター (ネッ
トワークの使用環境により、接続速度に差
が生じることがあります。本機は
10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通
信品質を保証するものではありません。)

USB端子

●←USB 1/2 (USB 2.0対応)
SS←USB 3 録画用HDD接続端子(USB
3.1 Gen 1対応)

コントロール端子

RS-232C、ミニジャック(サービス用の端
子です。通常は使用しません。)

電源部、その他

動作温度

0℃～40℃

動作湿度

10%～80%(結露なきこと)

消費電力

KJ-65X8000G : 258 W
KJ-55X8000G : 195 W
KJ-49X8000G : 120 W
KJ-43X8000G : 111 W

消費電力(リモコン待機時)

0.5 W (データ取得時、ネットワーク接続
時を除く)

年間消費電力量(スタンダード時)

KJ-65X8000G : 216 kWh/年
KJ-55X8000G : 166 kWh/年
KJ-49X8000G : 121 kWh/年
KJ-43X8000G : 103 kWh/年

区分名

DF1 (FHD、液晶ノーマル、付加機能1)

受信機型サイズ

KJ-65X8000G : 65V
KJ-55X8000G : 55V
KJ-49X8000G : 49V
KJ-43X8000G : 43V

パネル解像度

3840×2160 (画素 : 水平×垂直)

有効画面サイズ*4 (幅・高さ・対角)

KJ-65X8000G : 142.8・80.4・163.9 cm
KJ-55X8000G : 121.0・68.0・138.8 cm
KJ-49X8000G : 107.4・60.4・123.2 cm
KJ-43X8000G : 94.1・52.9・108.0 cm

視野角(左右/上下)

178/178度(JEITA規格準拠コントラスト比
10:1)

最大外形寸法*4

(最大突起部分を除く)(幅×高さ×奥行
き)
KJ-65X8000G : 146.3×84.5×8.0 cm、
146.3×90.9×33.6 cm (スタンド含む)
KJ-55X8000G : 124.1×72.1×7.9 cm、
124.1×78.5×33.6 cm (スタンド含む)
KJ-49X8000G : 110.1×64.5×5.7 cm、
110.1×70.4×26.0 cm (スタンド含む)
KJ-43X8000G : 97.0×57.0×5.7 cm、
97.0×63.0×26.0 cm (スタンド含む)

質量*4

KJ-65X8000G : 20.9 kg、22.0 kg (スタ
ンド含む)
KJ-55X8000G : 16.1 kg、17.2 kg (スタ
ンド含む)
KJ-49X8000G : 11.8 kg、12.4 kg (スタ
ンド含む)
KJ-43X8000G : 9.6 kg、10.2 kg (スタ
ンド含む)

電源

KJ-65/55X8000G : AC 100 V、
50/60 Hz
KJ-49/43X8000G : DC 19.5 V (ACパワ
アダプター使用)、AC 100 V、50/60 Hz

定格出力

USB 1/2
DC5 V、500 mA MAX
USB 3
DC5 V、900 mA MAX

*4 有効画面サイズおよび最大外形寸法と質
量は、おおよその値です。

別売アクセサリ

壁掛けユニット：

SU-WL450

- 受信機型サイズ(65V、55V、49V、43V)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値(1相当りの入力電流が20 A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

区分名と年間消費電力量について

- 区分名
「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。
- 年間消費電力量
省エネ法に基づいて、一般家庭での1日の平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

商標、ライセンス

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Gracenote、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、"Powered by Gracenote"ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。
- Vewd® Core. Copyright 1995-2019 Vewd Software AS. All rights reserved.
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Direct® およびMiracast® は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™ ロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。
- BRAVIA、ブラビア及びBRAVIA ロゴはソニー株式会社の登録商標です。
ブラビアリンク及びBRAVIA Linkはソニー株式会社の商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS, Inc. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS Digital Surround is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- USB-IF SuperSpeed USB Tridentロゴ  はUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。
- TUXERA is a registered trademark of Tuxera Inc. in the US and other countries.
- Google、Google Play、Chromecast、YouTube、Android TV、その他の関連マークおよびロゴは、Google LLC の商標です。
- Huluは、Hulu, LLCの登録商標です。
- U-NEXTは、株式会社U-NEXTの登録商標です。
- AbemaTV及びAbemaTVロゴは株式会社AbemaTVの登録商標です。
- Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。



ソフトウェアに関する重要なお知らせ

ソフトウェア使用許諾契約書

この度は弊社製品(以下「本製品」とします)をお買い上げいただきありがとうございます。本製品の使用を開始される前に必ず、このソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約」とします)をお読みください。お客様による本製品の使用開始をもって、お客様が本契約の内容をご確認の上、同内容にご同意いただけたものとさせていただきます。

万一、本契約および弊社のプライバシーポリシーの条件にご同意いただけない場合、許諾ソフトウェア(以下に定義します)の使用およびコンテンツサービス(以下に定義します)にアクセスすることはできません。その場合には、直ちに、許諾ソフトウェアおよび本製品の返品および代金の返金の手続について弊社にご連絡ください。なお、本契約および弊社のプライバシーポリシー (<https://www.sony.jp/privacy/>)の条件は弊社の判断により適宜変更されることがあります。

本契約は、お客様(以下「使用者」とします)と弊社(以下「ソニー」とします)との間における本製品に含まれるソフトウェア(但し、後述の「除外ソフトウェア」を除きます)の使用許諾に関する条件について規定するものです。また、本契約は、本製品に含まれる除外ソフトウェア以外のソフトウェア(本製品に含まれる弊社が許諾を受けている第三者のソフトウェアを含みます。なお、当該第三者を以下「原権利者」とします)のみならず、同梱の印刷物およびオンラインで提供される情報をも対象としています(以下あわせて「許諾ソフトウェア」とします)。

本製品は、弊社以外のソニー関連会社を含む第三者コンテンツプロバイダー(以下「第三者プロバイダー」とします)により提供される一定のコンテンツサービス(以下「コンテンツサービス」とします)へのアクセスを可能にするSony Entertainment Network機能を搭載しています。また、Sony Entertainment Network機能は、弊社が提供する一定のコンテンツサービス(以下「弊社コンテンツサービス」とします)にアクセスする機能を有しています。かかる弊社コンテンツサービスとそのサービスを通じて提供されるコンテンツ(以下「弊社コンテンツ」とします)は、いずれも許諾ソフトウェアの一部とみなし、本契約の適用を受けるものとします。なお、Sony Entertainment Network機能を利用するためには、インターネットへの接続環境が必要です。また、Sony Entertainment Network機能を通じてのコンテンツサービスへのアクセスやそのサービスの質は、使用者が利用しているインターネットサービスプロバイダーから提供される接続環境(接続速度を含みます)に依存します。さらに、画質および利用できる画像のサイズ等も、使用者のインターネット接続環境および第三者プロバイダーによるコンテンツサービスの配信環境により変わります。第三者プロバイダーにより提供される音楽、音声、写真、画像、映像等、ソフトウェア、文書、テキスト、動画、メッセージ、タグその他のデータを含むコンテンツ(以下「コンテンツ」とします)およびコンテンツサービスは、当該第三者プロバイダーの判断により提供されるものです。また、これらのコンテンツおよびコンテンツサービスについては、第三者プロバイダーが使用者に提示する条件に基づいて提供されます。なお、高品質なコンテンツについては、追加の費用や使用者の登録が必要になるケースもありますので予めご了承ください。これらのコンテンツサービスおよび

コンテンツは、使用者の個人的な目的において私的利用の範囲内でのみ利用されるものであり、レンタル、入場料・視聴料を伴う場所における上映その他公共の場所での放映を目的に使用されることは禁止されています。コンテンツサービスおよびコンテンツの内容は適宜変更される可能性があり、また、コンテンツサービスそのものが終了される可能性もありますので予めご了承ください。

本製品を利用した弊社コンテンツおよびコンテンツサービス等へのアクセスは、インターネット接続環境を必要とし、当該インターネット接続環境のために必要な第三者への支払い(インターネットサービス事業者への支払いを含みますが、これらに限られません)については使用者が自ら責任を負うものとします。弊社コンテンツおよびコンテンツサービスの利用、動作、品質は、使用者が用いるインターネットサービスの性能、回線容量その他の技術的な制限により限定されます。弊社は、インターネットサービス事業者を含む第三者から提供される当該インターネット接続環境についての責任を一切負わないものとします。当該インターネット接続環境の条件、品質、性能、回線容量、安全性その他提供されるサービスの内容については、当該第三者が責任を負うものとします。

許諾ソフトウェアおよびコンテンツサービスを通じて、弊社および第三者プロバイダーを含む第三者が本製品もしくは許諾ソフトウェアに付随して動作するその他の機器から情報を収集し、または、本製品もしくはこれらの機器の動作を制御もしくは監視することがありますので、その旨ご了承ください。

許諾ソフトウェアの使用許諾

使用者は、許諾ソフトウェアを本契約にて明示的に認められた範囲を除き使用することはできません。許諾ソフトウェアは、本契約に基づいて許諾されますが、使用者に譲渡されるものではありません。許諾ソフトウェアは、本製品上においてのみ使用可能です。また、許諾ソフトウェアは、データファイルを自動的に作成することがあり、かかるデータファイルは許諾ソフトウェアの一部とみなします。使用者は、弊社の同意なく、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから分離して使用してはならないものとします。また、許諾ソフトウェアの一部または全部の修正、リバースエンジニアリング、逆コンパイルおよび逆アセンブルを行ってはならないものとし、本契約にて許諾された目的においてのみ使用するものとします。さらに、使用者は、許諾ソフトウェアを貸与またはリースしてはならないものとします。なお、使用者は、本製品の売却または譲渡に伴い、許諾ソフトウェアの一切(全ての複製、構成部分、媒体、印刷物および本ソフトウェアのあらゆるバージョンならびにそのアップデートならびに本契約)を譲渡し、かつ、譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、本契約上の権利を第三者に譲渡することができるものとします。弊社および原権利者は、本契約上、使用者に許諾されていない全ての権利を留保します。許諾ソフトウェアがその動作にあたって使用するソフトウェア、サービスその他の製品の提供が、提供者(第三者プロバイダーを含む)または弊社の判断により中断または終了されることがあります。

除外ソフトウェア

上記使用許諾にもかかわらず、本製品には、本契約とは別のソフトウェア使用条件に従っていたり、また、その後も含まれます(以下「除外ソフトウェア」とします)。除外ソフトウェアの中には、「Open Source Initiative」によりオープンソースライセンスと認定されたソフトウェアライセンス、またはそれに代わる類似のソフトウェアライセンス(当該ライセンスのもとでライセンスされたソフトウェアの頒布条件

として、頒布者に当該ソフトウェアのソースコードを利用可能にすることを求めるものを含みますが、これに限られません)の適用を受けるものもあります(そうしたものを以下「オープンソースコンポーネント」とします)。オープンソースコンポーネントに適用される条件は、本契約とともに提供されるか、本製品の「設定」内の「端末情報」から「法的情報」をお選びいただくこととさせていただきます。

オープンソースコンポーネントについては、それに適用されるライセンスの条件が、当該ライセンスにて求められる限度において、本契約の条件に代わって適用されるものとします。本契約中の制約のいずれかが、オープンソースコンポーネントに適用されるライセンスにより禁じられている場合には、その限度において、当該制約は当該オープンソースコンポーネントには適用されないものとします。オープンソースコンポーネントに適用されるライセンスにて当社が求められる限度において、当社は許諾ソフトウェアに関するソースコードを提供いたします。

ユーザーアカウント

コンテンツサービスおよびコンテンツへのアクセスならびにそれらの閲覧および使用にあたり、第三者プロバイダーその他第三者が使用者に対して、使用者の情報に基づくユーザーアカウント(以下「アカウント」とします)の作成を求められる場合があります。また、その情報を正確にかつ完全に適時、更新することを求める場合があります。使用者は、アカウントに関するパスワードの機密性の維持について自ら責任を負うものとします。

情報の収集

第三者プロバイダーが提供するコンテンツサービスを通じて、第三者プロバイダーが使用者または当該コンテンツサービスの利用に関して情報を収集することがありますので、その旨ご了承ください。弊社は、かかる情報の収集につき責任を負うものではなく、かつ、かかる情報の収集をコントロールすることはできません。当該コンテンツサービスについてのプライバシーポリシーを事前にご確認ください。

使用者が提供した情報の利用

使用者が弊社に対して提供するあらゆる情報(あらゆるコメント、データ、質問、回答、提案その他これに準ずるものを含みますがこれらに限りません。また、提供の方法を含みます。以下「提供情報」とします)は、全て秘密情報や使用者に帰属する情報ではないものとして弊社は取り扱います。よって、弊社による提供情報の利用は、使用者のいかなる権利(著作権、著作者人格権、プライバシー、所有権、公表権その他の権利を含みますがこれらに限りません)に対する弊社による侵害とみなされませんものとします。あらゆる提供情報は、弊社により地域の限定なく使用される可能性があります(翻案・放映・修正・複製・開示・第三者への許諾・上演・公表・出版・販売・送信などを含みますがこれらに限りません)。さらに、使用者は、提供情報についてのあらゆる権利および利益を弊社に譲渡し、弊社は使用者に一切の対価を支払うことなく、提供情報および提供情報に含まれるアイデア、ノウハウ、コンセプト、技術その他の知的財産権を自由に使用することができるものとします。なお、これらの権利は、弊社がそれらの提供情報およびそれらに含まれる知的財産権を使用する義務を負うものではありません。

情報の送信

インターネット上の送信に関する機密性および安全性は、完全に保証されたものではありません。使用者が送信するあらゆる情報については、暗号化などの技術を使っている旨の特定の表示がない限り、第三者により読み取られるまたは傍受されている

可能性があります。弊社に対する情報の送信は、弊社が使用者に対して特別な責任を負わなければならないことを意味するものではありません。

デジタル著作権管理

コンテンツの所有者は、マイクロソフトの PlayReady™ コンテンツアクセス技術(以下「PlayReady」とします)を用いて、自らの知的財産権(著作権で保護されたコンテンツを含む)を保護しています。

本製品は、PlayReady技術を用いて、PlayReadyにより保護されているコンテンツ及びマイクロソフトのWindows Media デジタル著作権管理技術により保護されているコンテンツを利用しています。万一、本製品がコンテンツの使用に対して適切な制限を加えることができない場合、コンテンツの所有者は、Microsoft Corporation (以下「マイクロソフト」とします)に対して、PlayReadyにより保護されるべきコンテンツの、本製品における利用の取消を要求する可能性があります。なお、もともと保護されていないコンテンツや、他のコンテンツアクセス技術により保護されているコンテンツは、かかる取消による影響を受けません。また、コンテンツの所有者は、コンテンツを使用するために使用者に対して PlayReadyの更新を求める場合があり、かかる更新が行なわれない場合、使用者はかかるコンテンツの使用ができなくなります。

広告・宣伝活動

本製品を通じたコンテンツサービスの提供は、弊社が当該コンテンツサービスを承認または推奨することを意味するものではありません。コンテンツサービスおよびコンテンツは、広告・宣伝物を含むことがあります。これらの広告・宣伝物は、これらのコンテンツサービスを受けるために必要なものであることをご理解ください。Sony Entertainment Network機能をご利用いただくには、使用者の居住地(国/地域)のSony Entertainment Network利用規約(SEN利用規約)、PlayStation®Network利用規約(PSN利用規約)およびプライバシーポリシーが適用されます。併せてご確認の上、ご了承ください。弊社および第三者プロバイダーは、使用者に対して、これらの広告・宣伝物、情報提供およびコンテンツが正確であること、適法であること、信頼できるものであることおよび有効なものであることについて、明示・黙示問わず何らの保証を行わないものとし、また、これらの広告・宣伝物、情報提供およびコンテンツについて、法律で許容される範囲において一切の責任を負わないものとし、

年少者にとって不適切なコンテンツおよび年少者に対する配慮

一定のコンテンツは、年少者またはその他一定の使用者による使用に適さないものを含みます。これらのコンテンツは、年齢指定がされているものもありますが、されていないものもあります。弊社は、内容に拘らずコンテンツについて一切の責任を負いません、コンテンツの使用は使用者自らの責任で行ってください。また、年少者による本製品、許諾ソフトウェア、除外ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツの使用についても、使用者自らの責任で監視、監督を行ってください。もし、使用者が15歳未満であれば、次の行動を行う前に使用者の両親または保護者の承認を得てください。

- ①コンテンツサービスを通じて弊社に電子メールを送信する行為。
- ②その他あらゆる情報を提供する行為。
- ③使用者の個人情報の提供を求めるコンテスト、ゲームに参加するまたは懸賞に応募する行為。
- ④あらゆる同好会、グループなどに参加する、⑤掲示板などに投稿する、またはチャットルームなどに参

加する行為。

⑥オンライン上で物品・サービスを購入する行為。

無保証

あらゆるコンテンツおよびコンテンツサービスは第三者プロバイダーにより、またはそのソフトウェアを通じて提供されており、弊社がコントロールすることはできません。かかるコンテンツまたはソフトウェアの選定、提供、品質、画像のサイズおよび利用可能性は、全て第三者プロバイダーまたはその他の第三者の責任により決定されています。第三者プロバイダーが提供するコンテンツサービス、コンテンツまたはソフトウェアの使用について第三者プロバイダーが定める条件がある場合、使用者はその条件に従って使用することとします。さらに、コンテンツサービスへのアクセスならびにその閲覧および使用(ならびにコンテンツサービスの使用に伴う広告・宣伝物の表示など)は、インターネット接続環境を必要とし、当該インターネット接続環境のために必要な第三者への支払い(インターネットサービス事業者への支払いを含みますが、これらに限られません)については使用者が自ら責任を負うものとし、Sony Entertainment Network機能およびコンテンツサービスの利用は、使用者が用いるインターネットサービスの性能、回線容量その他の技術的な制限により限定されます。弊社および第三者プロバイダーは、法律により許容される範囲において、あらゆる使用者の送受信に関する事項(送受信の非適時性、送受信データの消失、データの送受信エラーまたは送受信データもしくは個人用設定の不保存)についての責任は一切負わないものとする。

許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツは、現状有姿で何らの保証なく提供されるものとし、弊社、原権利者および第三者プロバイダーは、明示・黙示を問わず、許諾ソフトウェアに関して何らの保証(非侵害、有用性、目的性などを含みますが、これらに限られません)を行わないものとし、弊社、原権利者および第三者プロバイダーは、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスまたはコンテンツが使用者の要求を満たすこと、または、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスまたはコンテンツが中断なく稼働し、不具合のないものであることを一切保証いたしません。さらに、弊社、原権利者および第三者プロバイダーは、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスまたはコンテンツの正確性、信頼性その他一切の保証を行いません。弊社または弊社の代表者からのあらゆる情報の提供や助言は、新たに弊社による保証を生じせしめるものではなく、本契約上の保証に関する条件を変更するものではありません。万一、ソフトウェア、当該ソフトウェアを含む媒体、書面、コンテンツサービスまたはコンテンツに不具合があることが証明された場合は、法律で許容される範囲において、弊社または弊社の代表者ではなく使用者が当該不具合の解消に要する全ての費用を負担することとします。

責任の限定

弊社、原権利者または第三者プロバイダーは、法律で許容される範囲において、使用者に対して、あらゆる特別損害、間接損害、懲罰的賠償、派生的損害その他これらに準ずるもの(本契約に起因するまたは本契約に関するもの、本製品、コンテンツサービス、コンテンツの使用、不使用、不稼働に伴うまたはそれに起因するもの、逸失利益に関するもの、データ・情報の喪失に関するもの、営業上の利益・損害に関するものなど)に関連する一切の補償、返金および損害賠償を含みますが、これらに限られません)について、万一、弊社、原権利者または第三者プロバイダーがそれらの損害等について認識を持っていたとしても、一切責任を負わないものとし、許諾ソフトウェ

ア、コンテンツサービスおよびコンテンツは使用者の責任において使用されるために提供されます。弊社、原権利者および第三者プロバイダーは、法律で許容される範囲において、許諾ソフトウェア、コンテンツサービス、コンテンツおよび本契約に関するいかなる明示・黙示の保証に関する違反、契約違反、過失による責任、無過失責任その他一切の法的責任を負わないものとします。

媒体に関する責任の限定

許諾ソフトウェアまたはその一部が媒体により提供された場合、弊社は、使用者に対する提供から90日間、当該媒体に材料または製造上の不具合がないことを保証します。かかる保証は、弊社から原始的に本件許諾ソフトウェアの許諾を受けた使用者にのみ適用されます。かかる保証の違反についての弊社の責任および使用者が受けられる対応は、媒体の交換のみに限定されます。上記保証のほか、媒体についての黙示の保証(有用性、非侵害、目的性を含みますが、これらに限られません)は、提供から90日間に限定されます。

対価

弊社および第三者プロバイダーは、新規または既存のコンテンツまたはコンテンツサービスへのアクセスについて、課金することとなるような変更を加える権利を留保します。さらに、第三者プロバイダーは、当該第三者プロバイダーが保有するコンテンツへのアクセスに課金する可能性があります。ただし、いかなる場合においても、課金されることに対する使用者の同意なく、コンテンツまたはコンテンツサービスへのアクセスに課金されることはありません。なお、使用者がかかる課金についての同意を行わない場合、使用者は課金対象のコンテンツまたはコンテンツサービスに対するアクセスは認められません。

知的財産および知的財産権侵害に関するクレームの通知

弊社は、第三者の知的財産権を尊重し、使用者に対しても当該知的財産権を尊重することを求めます。弊社の著作権その他の知的財産権を侵害しているまたはそのおそれのあるコンテンツにつき、弊社は、弊社の判断により適宜、許諾ソフトウェアを通じての使用を停止し、当該コンテンツを保有する第三者プロバイダーその他の第三者に対して、当該第三者の定める知的財産権の保護に関する規定に基づく検討および対応がとられるよう当該知的財産権侵害についての通知を行います。許諾ソフトウェアおよびコンテンツは著作権法その他の知的財産権に関する法律、条約により保護されています。許諾ソフトウェアおよびコンテンツの使用を認めることは、使用者に対して弊社および第三者プロバイダーからそれらが保有するロゴ、サービスマーク、商標、商号その他それらに準ずるものを許諾することを意味しないものとし、許諾ソフトウェアおよびコンテンツに関する全ての権利および利益ならびにそれらの複製または構成要素は、弊社、原権利者、提供者または第三者プロバイダーに帰属するものとし、本契約にて明示的に許諾されていないあらゆる権利については、これらにより留保されます。使用者は、使用者の全ての活動(アクセス、閲覧その他本製品またはアカウントを通じて行われるコンテンツサービスの使用を含みますが、これらに限られません)について自ら責任を負います。使用者は、合法的な目的においてのみ、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツを使用することができ、使用者は、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツ(音声、画像、文書、動画、メッセージ、タグその他のデータを含みますがこれらに限られません)およびそれらの複製に関する利用

または公共のために、配布、交換、修正、販売または送信を行うことはできません。本契約に定める条件を遵守する限りにおいて、弊社は、使用者に対して、コンテンツサービスやコンテンツにアクセスするためにSony Entertainment Network機能を使用する非独占的かつ譲渡不能な限定的ライセンスを付与します。また、使用者は、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツの動作を中断、停止させたり、そのような試みをすることはできません。

万、使用者の作品が著作権侵害を構成するようなかたちで複製されていると思われる場合、または使用者の知的財産権が何らかの形で侵害されていると思われる場合は、まず、第三者プロバイダーに対して対応をご相談ください。万、使用者が第三者プロバイダーと連絡が取れない場合、もしくは、侵害のおそれがあるコンテンツが弊社のものである場合、ソニーご相談窓口までご連絡ください。

第三者に対する責任

以下のいずれかに関連してまたは起因して、使用者または弊社、弊社役員・従業員その他関係者（以下「補償対象者」とします）と第三者との間で紛争が生じた場合、使用者は、使用者自身の費用でそれらの紛争を解決するものとし、補償対象者に対して一切の迷惑をかけないものとし、

- ①使用者による本契約違反または違反のおそれ、
- ②使用者から弊社に対して本契約に基づいて提供された情報、
- ③使用者による第三者の権利侵害またはそのおそれ、
- ④使用者による許諾ソフトウェア、コンテンツサービスまたはコンテンツの損傷、毀損。

使用者は、解決のために代理人を選定し、使用者、弊社または補償対象者を代理せしめる場合は、弊社、その他の関連する補償対象者の同意を得るものとし、使用者およびその代理人は、補償対象者と協議の上、当該紛争を解決するものとし、弊社および補償対象者は、上記の補償を受けることを前提に、自らの費用で、当該紛争を解決する権利を留保します。使用者は、弊社および補償対象者の書面による事前の同意なく、弊社および補償対象者の不利益になるような判断、和解その他一切の活動を行うことはできません。

自動アップデート機能ならびに本契約の改定

許諾ソフトウェアは、適宜、例えばバグの修正、機能の改善、セキュリティ機能の許可などを目的に、弊社または第三者によりアップデートまたは修正されます。これらのアップデートまたは修正により、使用者が使用している許諾ソフトウェアの機能が変更されたり、一部が削除されたりする可能性もあります。また、これらのアップデートまたは修正は弊社の判断により行われ、当該アップデートまたは修正の適用を許諾ソフトウェアの継続的な使用の条件にすることもあります。なお、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスまたはコンテンツに適用される本契約の条件についても弊社により一部変更、修正または削除される可能性がありますが、いずれの場合においても事前に使用者に通知されます。当該通知以降の使用者によるコンテンツサービスまたはコンテンツへのアクセスをもって、使用者による当該変更、修正または削除された本契約に同意いただけたものとさせていただきます。弊社は、一切の通知なくコンテンツサービスの全てまたは一部を一時的にまたは恒久的に変更、中止、削除または停止することがあります。弊社は、法律の許容する範囲内において、かかる変更、中止、削除または停止につき、使用者に対して一切の責任を負いません。また、使用者が本契約の条件に違反した場合、その他の権利を一切放棄することなく、弊社は、コンテンツサービスまたはコンテンツに関する本契約の条項を中止または終了させる

ことができます。使用者が本契約の条項に違反していると弊社が判断した場合、弊社は、本契約の履行を強制するまたは不履行を是正するためのあらゆる法的または技術的な対策（使用者によるコンテンツサービスへのアクセスの即時停止）をとることができます。

高リスク活動

許諾ソフトウェアは、耐障害性を持ち合わせておらず、また、許諾ソフトウェアの欠陥や誤動作が、身体、生命、個人の財産その他物理的または環境的な損害をもたらすような環境での使用を想定しておらず、そのように設計、製造されていません。弊社、原権利者ならびにそれらの関係者は、特にこれらの環境における許諾ソフトウェアの有効性について明示・指示を問わず一切保証いたしません。

暗号化技術の輸出に関する規制

許諾ソフトウェアおよびコンテンツは、暗号化技術を含んでいる可能性があります。暗号化技術を含む許諾ソフトウェアおよびコンテンツは、輸出入に関する法令、規制または政府による許可・認可の対象となる可能性があり、使用者は、本製品、許諾ソフトウェアおよびコンテンツに適用のある法令、規制その他の規則及び国際条約を遵守する責任を負います。なお、暗号化技術を含む許諾ソフトウェアおよびコンテンツは、外国政府または政府関係機関による使用を意図していません。

完全合意条項、通知、放棄その他

本契約、本製品に関する限定的な保証、弊社のプライバシーポリシーおよびコンテンツサービスに関して提供された追加の利用条件は、本製品、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツに関する使用者と弊社間の完全なる合意であるものとし、弊社からの本契約に基づくあらゆる通知は、書簡、電子メールまたは弊社のコンテンツサービスを通じて行われます。弊社による本契約上の権利の不行使は、それらの権利を放棄したものとみなされないものとし、万、本契約の一部が法律により無効となった場合でも、当該条項は本契約の本旨に鑑みて法律により許容される範囲内で強制されるものとし、当該条項以外は有効に存続するものとし、本契約に定めのない事項または本契約の解釈に疑義を生じた場合には、弊社および使用者は誠意をもって協議し、解決するものとし、

第三受益者

原権利者および第三者プロバイダーは、本契約における第三受益者として取り扱われるものとし、本契約のソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツに関する条項は適宜、適切に当該第三者および第三者プロバイダーにより強制されるものとし、

期間

本契約は、次に従い解除されるまで有効なものとなります。弊社は、使用者が本契約に違反した場合、使用者に対する通知をもって、直ちに本契約を解除することができるものとします。その場合、使用者は、速やかに許諾ソフトウェアをそれらの複製を含めて廃棄するものとします。また、解除にあたって、使用者は、弊社、原権利者、第三者プロバイダーに対して、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツの使用ができなくなることを理由に費用の償還などを求めることはできないものとし、

準拠法、裁判管轄

本契約の準拠法は、日本国の法律とします。

ユーザー登録の抹消

使用者が、本契約に従って本製品を返品もしくは譲渡する場合、または本契約が終了した場合には、使用者は、①本製品を通じて取得またはアクセスした全てのアカウントを消去することによりユーザー登録を抹消し、②本製品を工場出荷時の状態に戻すものとします。使用者は、本製品を通じて取得したアカウント、ユーザーネーム、パスワードに関する情報の秘密保持について一切の責任を負うものとします。

GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

これらのソースコードは、Web でご提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURL にアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

索引

別紙と記載されている用語については、組み立て／設置ガイド(別紙)をご覧ください。

あ行

アフターサービス	45
アプリ	12
アンテナケーブル	別紙
アンテナをつなぐ	別紙
イルミネーションLED	6、39、43
インターネット	31
運搬	52
映像・音声ケーブル	25、26
枝番	14
音質	15
音声切換	11
音声ケーブル	22
音声検索	36
音声出力	22

か行

画質	15
壁掛けユニット	54
画面表示	11
画面表示切換	11
ケーブルテレビ	44

さ行

再設置	54
視聴中メニュー	11
字幕	11
字幕切換	11
初期設定	54
スター・チャンネル	44
スマートフォン	21
ソニールームリンク	31
ソフトウェアの更新	38

た行

地上D	13
チャンネル設定	54
デモモード	41
電池	別紙
転倒防止用ベルト	55、別紙
問い合わせ先	44、裏表紙
時計表示	11

な行

入力切換	10
ネット動画	35
ネットワーク	31

は行

ハードディスク	16
番組表	11
光デジタル接続ケーブル	22
ビデオ入力	26
ブラビアリンク	27
プロキシサーバー	33
分波器	別紙
ヘッドホン	8
ヘルプ	11
ヘルプガイド	5
ホーム	11
ホームシアターシステム	21
ホームメニュー	11、12
保証書	45

ま行

マイク	10
無線LANルーター	32、33、43
無線接続	31
モデム	31

や行

有線接続	31
------	----

ら行

リモコン	10、42、48、別紙
リモコン受光部	42
ルーター	31、別紙
録画	19
録画リスト	13、19

アルファベット

ARC	8
B-CASカード	8
BDレコーダー	25
Bluetooth	21、42
BS	13
CS	13
HDMIケーブル	21、25、27
HDR	25
IPアドレス	33
LANケーブル	8、31、32、43
SSID	32、33、43
Video & TV SideView	4
Wi-Fi	31
WOWOW	44



ヘルプガイド(電子取説)では、この取扱説明書より詳しく、使いかたを説明しています(5ページ)。



愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源コードやプラグが異常な熱を持っていませんか
- 異常な熱や煙が発生したり変な臭いや音(パチパチ)がしませんか
- 電源を入れても画像や音が出ないことはありませんか
- 故障状態のまま使用していませんか



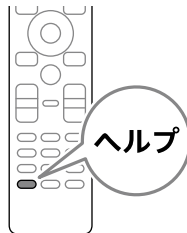
すぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のために、お買い上げ店、またはソニーご相談窓口にご相談ください。

お問い合わせの前にもう一度ご確認ください

テレビを再起動すると、問題が解決する場合があります。
本書の「故障かな?と思ったら」(37 ページ)をご覧ください。
本書の「故障かな?と思ったら」(37 ページ)をご覧ください。

お電話でのお問い合わせの前に

リモコンのヘルプボタンを押して、画面右上にある本機のモデル名(型名)をご確認ください。



よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9599**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「200」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニービジュアルプロダクツ株式会社 〒141-8610 東京都品川区大崎2-10-1